

蘭齋畫譜

木石草  
水部 三

子 4  
4301  
3





夫魚鱗ノ法ハ本三ツニシテ辨ノ足ノ如クコレヲ以テ眞ノ  
原體トス譬ハ猶人ノ胎内ニ在テイマダ出生セス草木ノ  
地中ニ在テ發生セサルガ如シ南蘋先生先師ニ口授セラ  
レシハ魚鱗ノ活法下ニ圖アリコレナリ連環半環相交リ變化シテ  
生々無窮ノ法ヲナス是ヲ魚鱗ノ活法ト云萬物ヲ描ク  
モノミナ此法ヨリ出  
画ハ草木水岩ヲ描キウルヲ肝要トスコニ大畧ヲ  
舉テ初学ニ示ス  
夫石ヲ描クニ三石三面ノ法アリ先三石ト云ハ左ニ圖スル

如ク小キ石ヲ描クトキハ大中小ノ三ツヲ聚メテコレヲナス  
一石ハ大イニ一石ハ小ク一石ハ中ニ描キ其石ノ位置大小ノ  
二石ハ近ク中石ノ一ツハ遠ク描クコレヲ三石ト云大巖ハ一  
石ニ二面ヲ見セ一面ハ大ク一面ハ小ク其間近カルヘシマタ  
一面ハ中ニシテ遠ク隔ツ自ラ一石ニ三面アリ委クハ下ニ圖ス  
都テ岩石ハ峻拔ヲ貴ビ其氣骨ヲ備ルヲ專要トス最モ  
口訣多シ先其岩ノ面ノ高カルヘキ所ハ輕ク卑カルヘキ取ハ重  
ク描クヘシ輕キハ陽筆重キハ陰筆ナリ又其岩ノ凹キ所ニ  
水氣アレバ苔ヲ生ス故ニ凹キ所ニ多ク皴渴筆點苔ヲ

描クベシ惟其氣骨ヲカヌルヲ難シトス

草木ノ画法多ク蘭譜梅譜ニ載レバ茲ニ略ス松柏ノ枝  
幹皴法少ク異ナルヲ以テ此部ニ著シテ初學ニ便ス然  
トモ唯其大意ヲ舉ルノミ

水モト形ナシ其形ナクシテ形ヲナス最モ画キウル一  
カタシ夫平湖ノ滉漾トシテ自ラ風ナク急流ノ潺湲  
湲トシテ聲アルカ如ク河水ノ連漪海潮ノ激瀺ノ  
形勢ヲ寫出スルマタ画中ノ妙ニアラズヤ凡水ヲ描ク  
ニ七法アリ波ヲ画クモ又七法アリ口授ニアラズハサトシ

カタシ猶此卷ノ末ニ圖シテ大意ヲシノスミル人此法ニ  
ヨツテ其意ヲサトラズ形ナキモノニシテ形ヲナスモ何ク  
カタカランヤ

蘭齋畫譜後篇卷三

魚鱗原體圖

魚鱗活法圖  
同活法變體

小斧劈皴法輪廓法

小斧劈全圖

小斧劈布置  
大斧劈

礮石圖

大斧劈全圖

大石峙立圖  
雲紋皴輪廓法

雲紋皴法

麻皮皴法

雲紋皴全圖

画山法

画草法

画艸用筆次第法  
四時變體

點苔法

蘆葉鉤勒法

画蘆葉法  
画蘆花法

蘆全圖

画松柏柳法

画松葉法  
画松幹法

画松枝法

松全圖

画柏法

画柳春秋變體

画楊法

画枝用筆次第法

画樹法

### 画波用筆次第法

平遠水法

溪沼連漪法

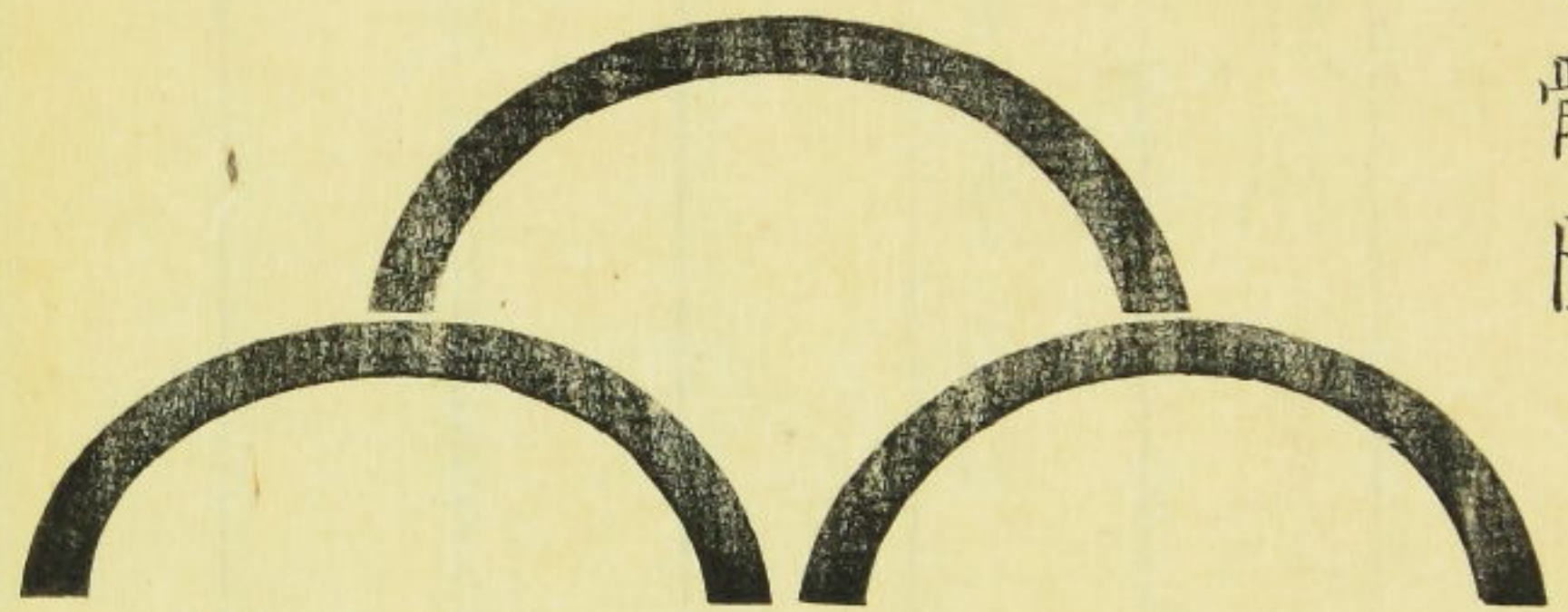
水灣法

江海波濤法

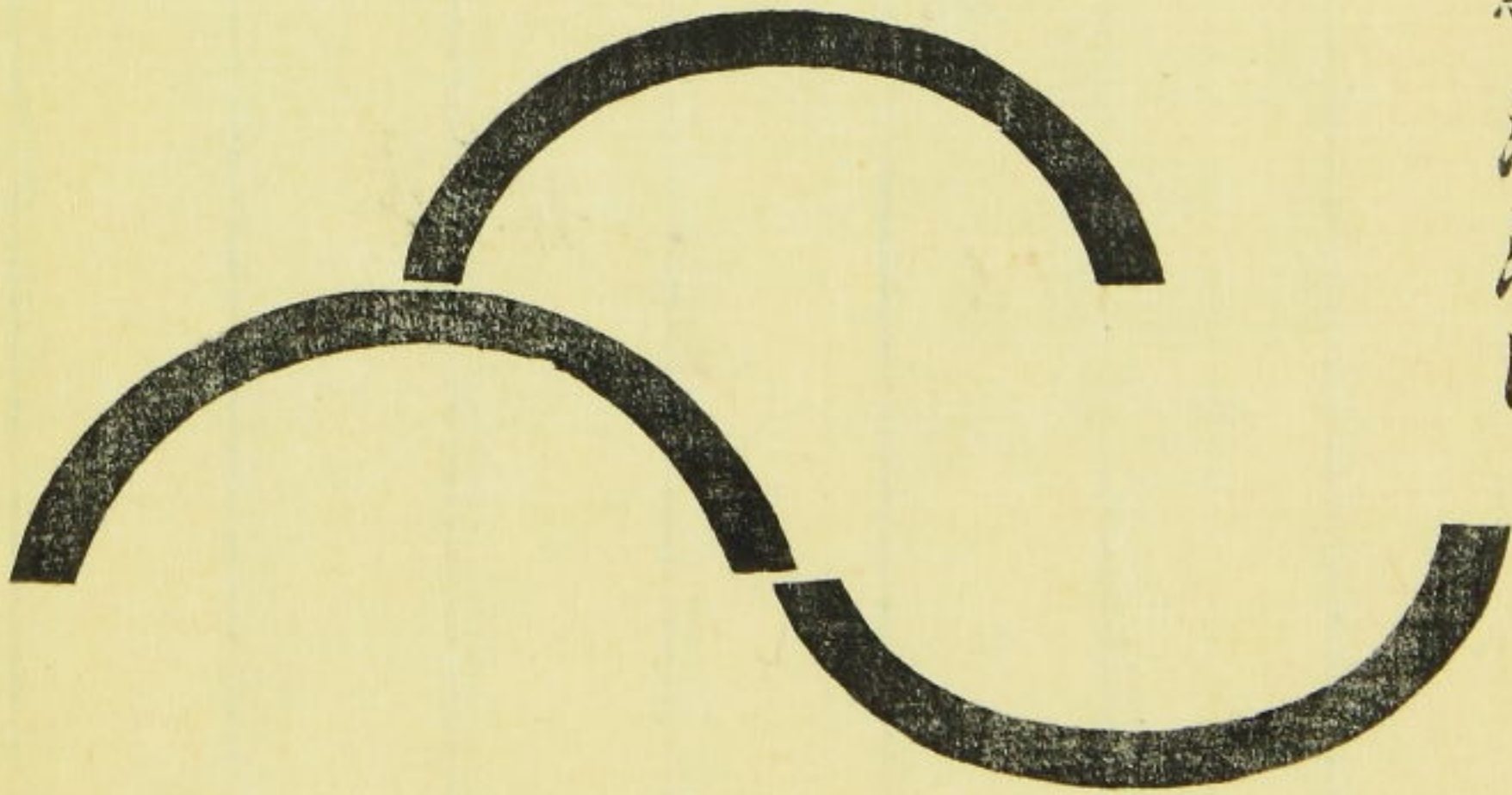
亂石疊泉法

驚濤怒漲法

魚鱗原體圖

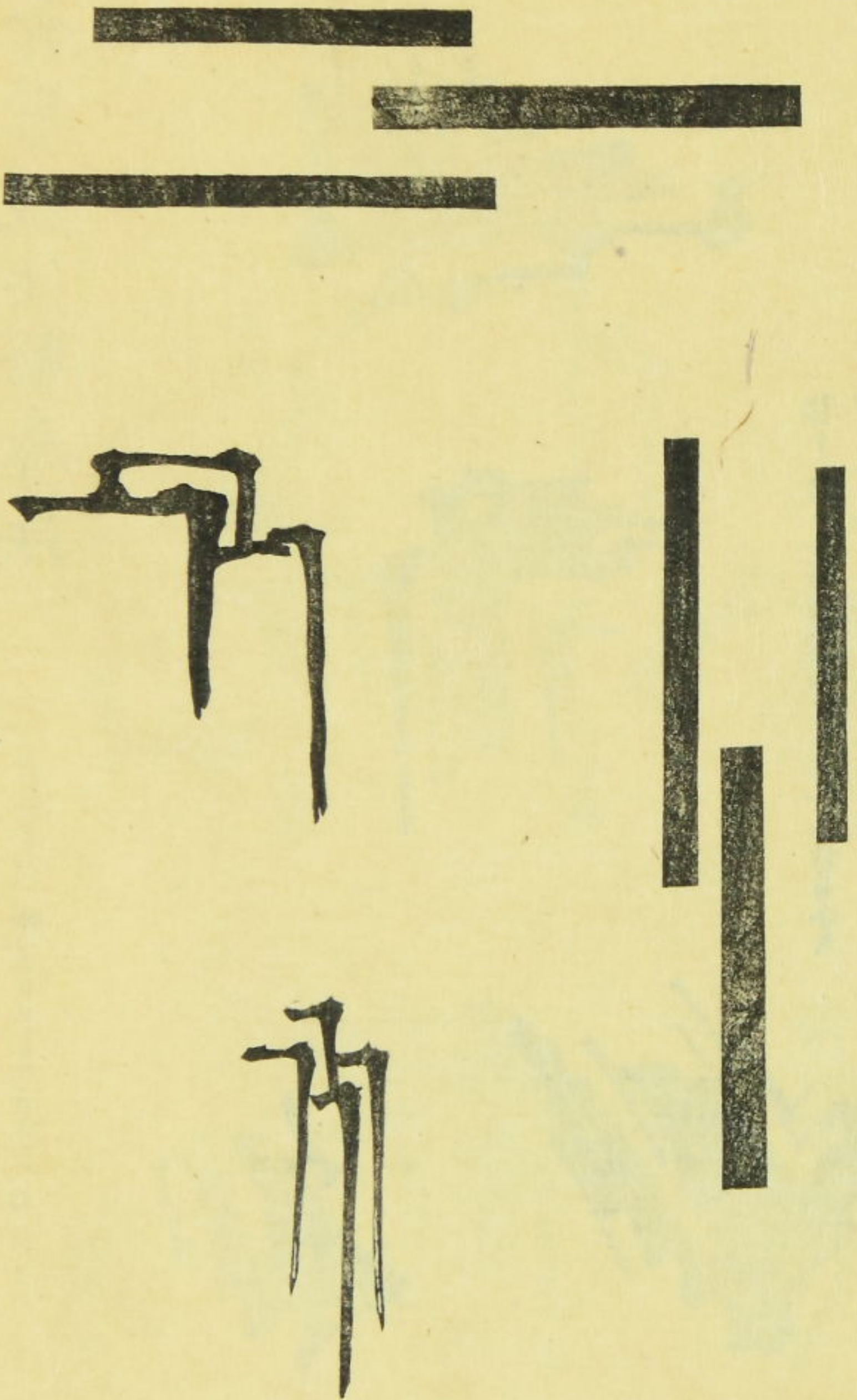


魚鱗活法圖



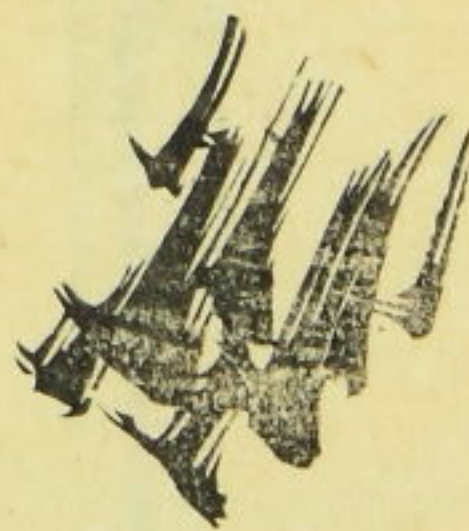
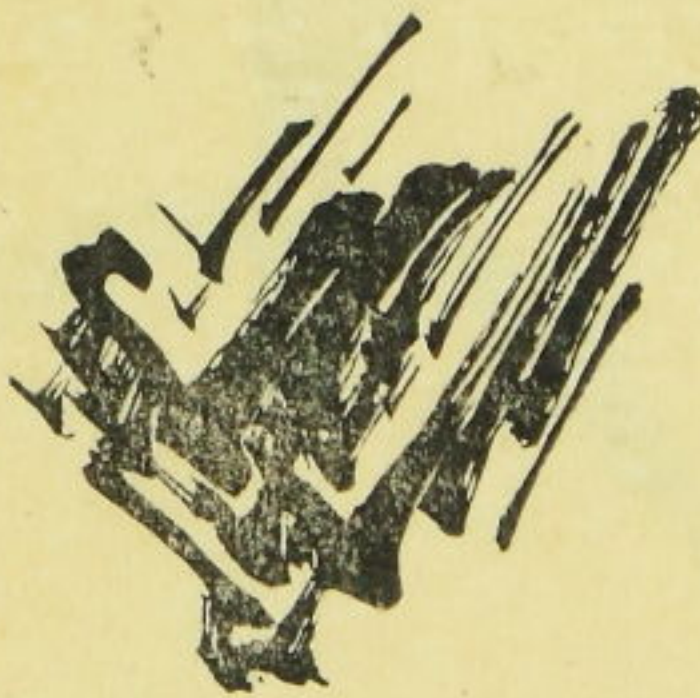
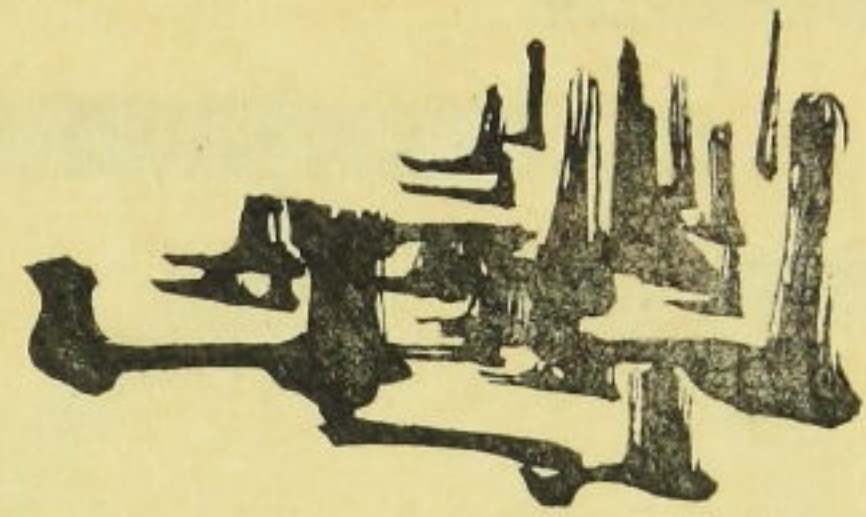
同活法變體

魚鱗活法變體豎橫如圖一ツハ大クツハ小ク其次中ニシテ大小ノ  
二ツハ近ク中ノ一ツハ遠ク描クコト也万物此法ニ准ス



小斧劈皴法輪廓法

此用筆藏鋒ニシテ筆端ヲ卷コム意ナリ  
腕力ヨロシクツヨカルヘシ



都テ凹タル所ニ渴筆ヲ多クシ点苔ヲナ  
凹ニ水氣アレバ苔ヲ生スルユナリ

小斧ハ斧ヲ以テチカキタル形ナリ  
輪廓カスリトモニ皆魚鱗ナリ大  
中小ノ筆意ヲ以テ画ヘシ

岩ノ皴ニ筆ハ中ニ其次ハ大ニ又其次ハ  
小ニシテニツハ近クニツハ遠クヘシ

小斧劈布置

此筆意肝要

此筆意石岩トモ同シ  
上ヨリ下ヘ渴筆魚鱗也

此輪廓ノ用筆  
心ヲ用コヘシ

此筆意  
肝要

始藏鋒

肝要

藏鋒

始

藏鋒

始

始

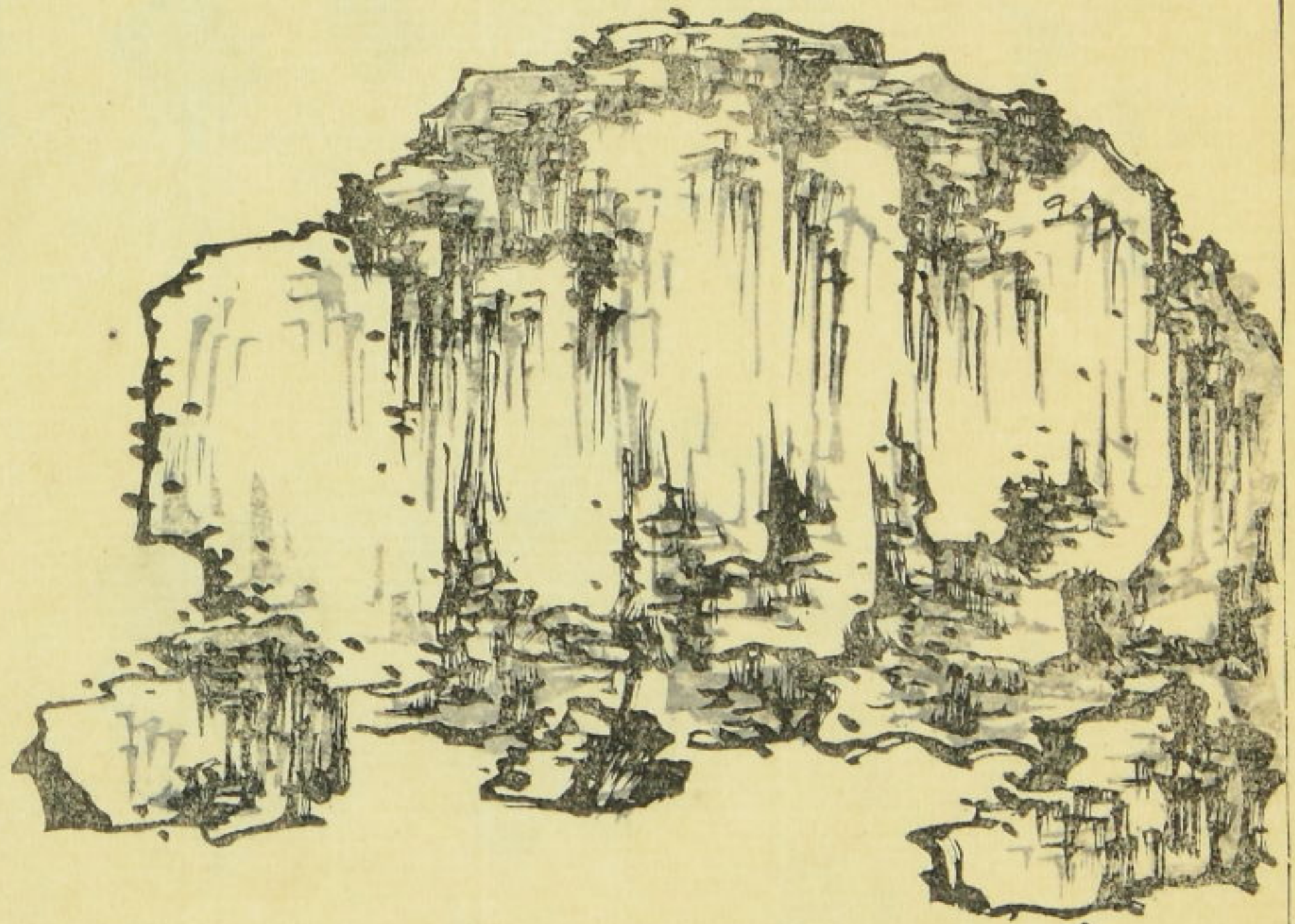
此渴筆魚鱗  
活法ナリ大中小  
ノ筆意通ヘシ

都テ三ツノ石小石ハ左ヘタツキ大石ハ  
中ニ立又中ノ石右ニタツク三ツトモ  
ニ同形ハ忌ナリ大小ノ石ハ近ク中ノ  
一ツハ少シハナレシヨレ魚鱗ナリ

此筆意肝要

始上ヨリ下ヘ

礧石圖



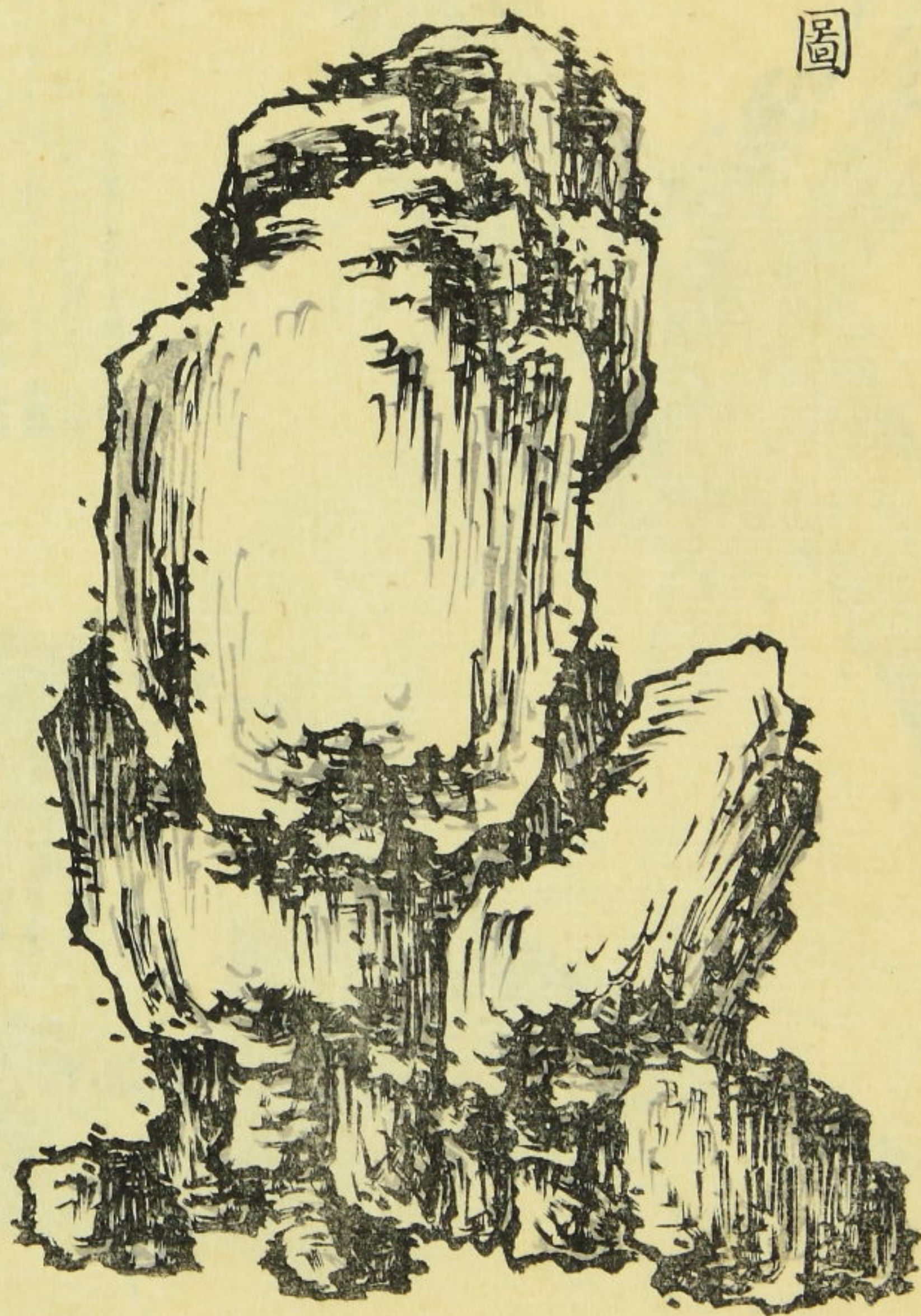
都テフスモノヲ盤石トス  
小ナルハ小斧ノ法ヲ以テ画  
大ナルハ大斧ノ法ヲ以テ画  
ヘシ

小斧劈全圖



岩ハツヨク描ヘシ筆ノアタリヨウチ山石ト  
石トノタリヤリ古今岩ヲ画クコトヲカ  
タシトス石ハ天地ノ骨ナルガユヘナリ生類  
ノ呼吸ト同レ骨ノツケ吸連フトキハ活  
勢ナシ用筆ニテ岩ト石ト分別自然ニ  
見ユ

大石峙立圖



大石、何ホド高ク画テモ傾歎セサルヤウニ  
画クラヨシトス又下モヨクスハサレハ剛カラズ

此石小斧ノ皴法ナリ下ニ小石ニツ  
ニハ縁ヲナク法ニテ近クスヘニツ  
ハ大ク似シハナヘシ

大斧劈



大斧劈



雲紋皴法

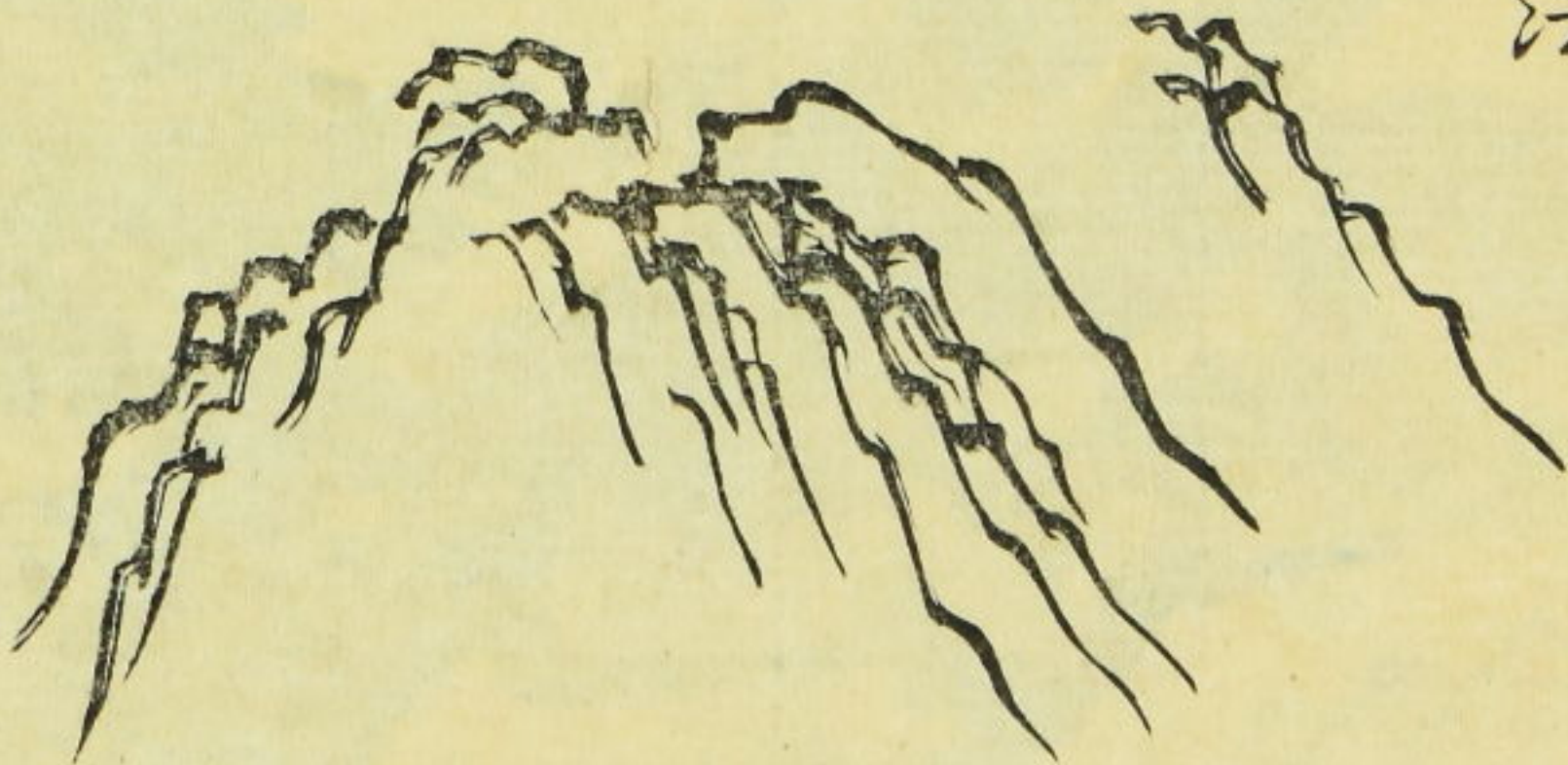
此筆始藏鋒  
筆ノタリ皆同シ



麻皮皴法

皴ノ初ハ五形次ニ三形  
又其次ハ四形ニアリ

雲紋皴ハ雲ヲ画クニ似テ其  
用筆ツヨカラサレハ勢ナシ土  
山ナレバ花鳥ニ用ユ



麻皮ノ皴法都テ麻皮  
ノ乱タカク画クヘシ

雲紋皴輪廓法

麻皮皴輪廓法

都テ山ノ輪廓凹形  
ニテ筆ヲヨクシ高キ形  
ニテ筆ヲカクヘシ



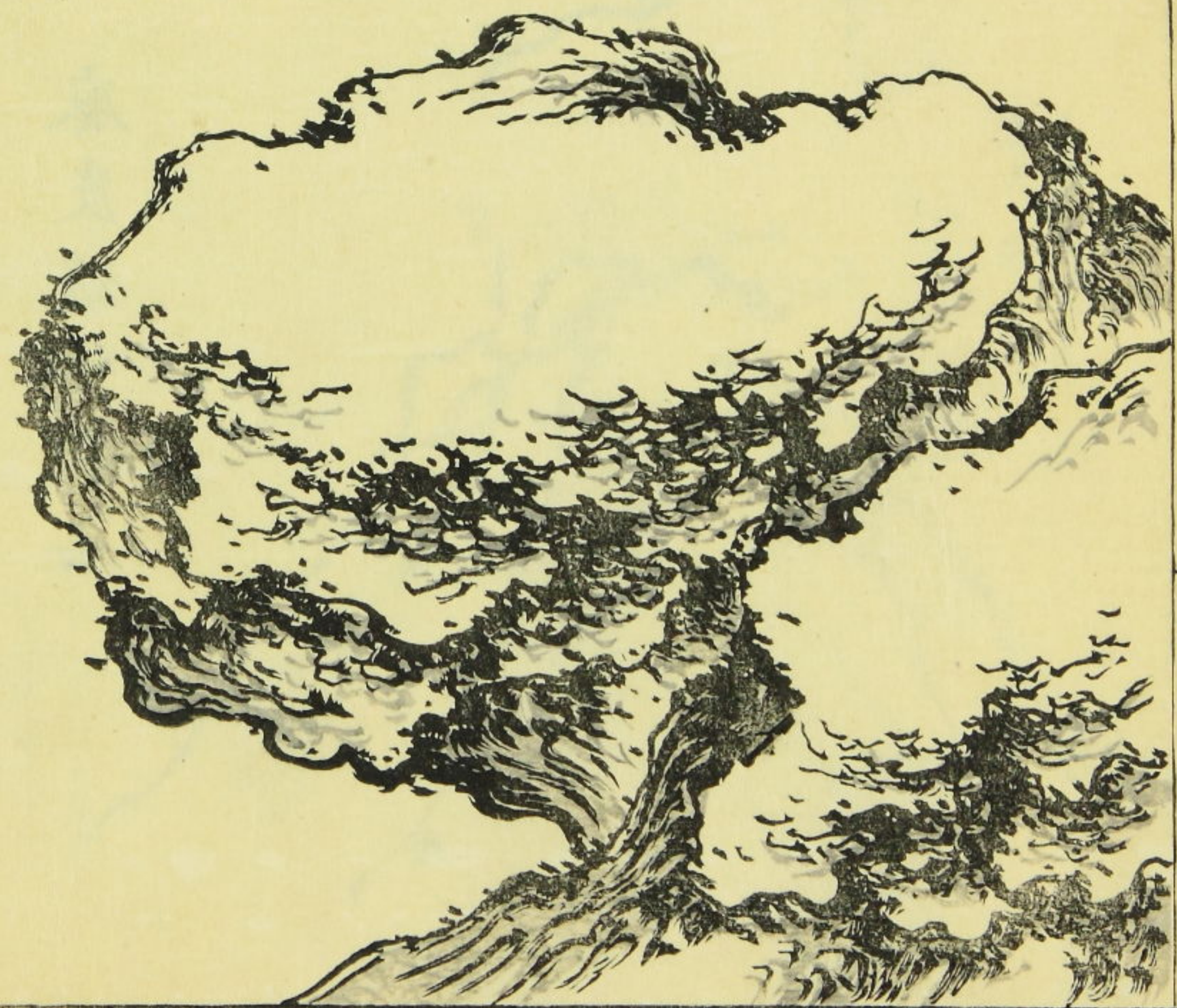
是ヲ始上下ノ  
描ヘシ

麻皮ノ皴ハ土山ニテ  
山水ニ用ル所ナリ



雲紋皴全圖

雲紋皴沈先生花鳥  
ノ圖ニ多クコレヲ用ユ



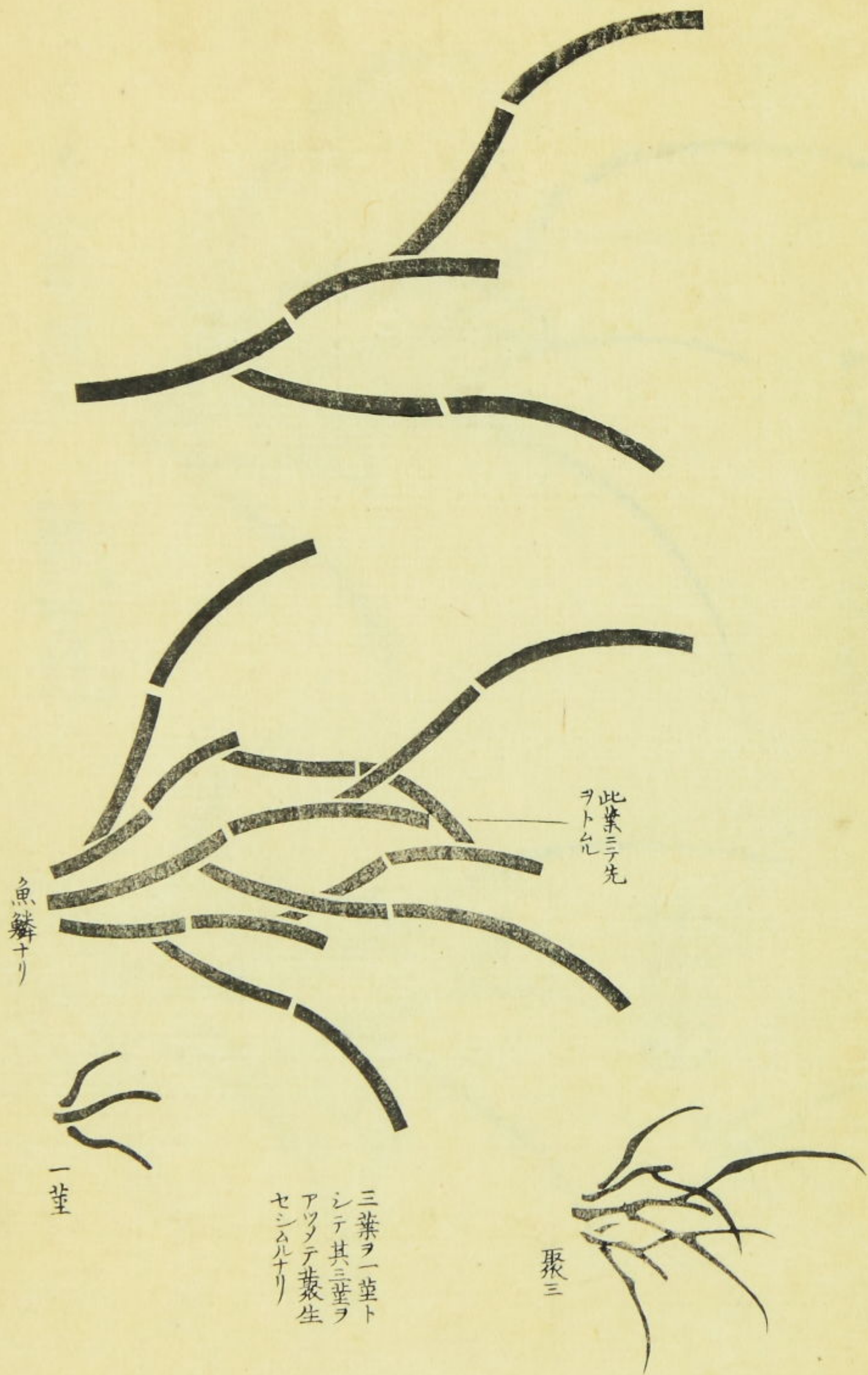
画山法



凡山ヲ画クモノ先輪廓ヲ  
定テ而後ニ皴ヲ施スヘシ輕  
重向背寔體多シトイヘモ  
先此一ヲアゲテ初學ニシマス

画草法

都テ地中ヨリ發生スルモノ連環半環魚鱗ノ  
法ヲ以テ順筆ニ画クヘシ



此葉ニ先  
ヲトル

聚三

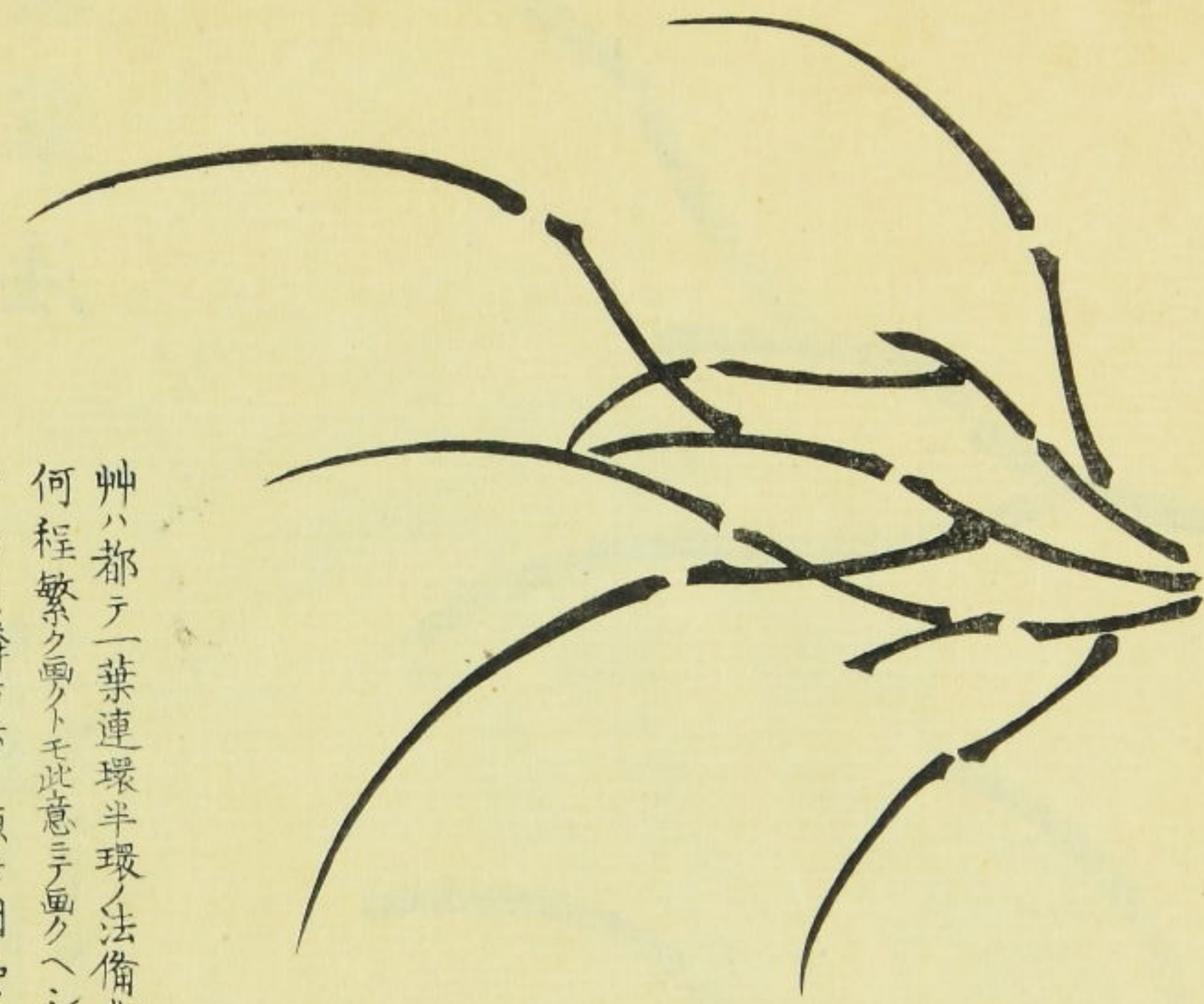
三葉ヲ一莖ト  
シテ其ニ莖ヲ  
アツクテ叢生  
セシムルナリ

一莖

画草用筆次第法

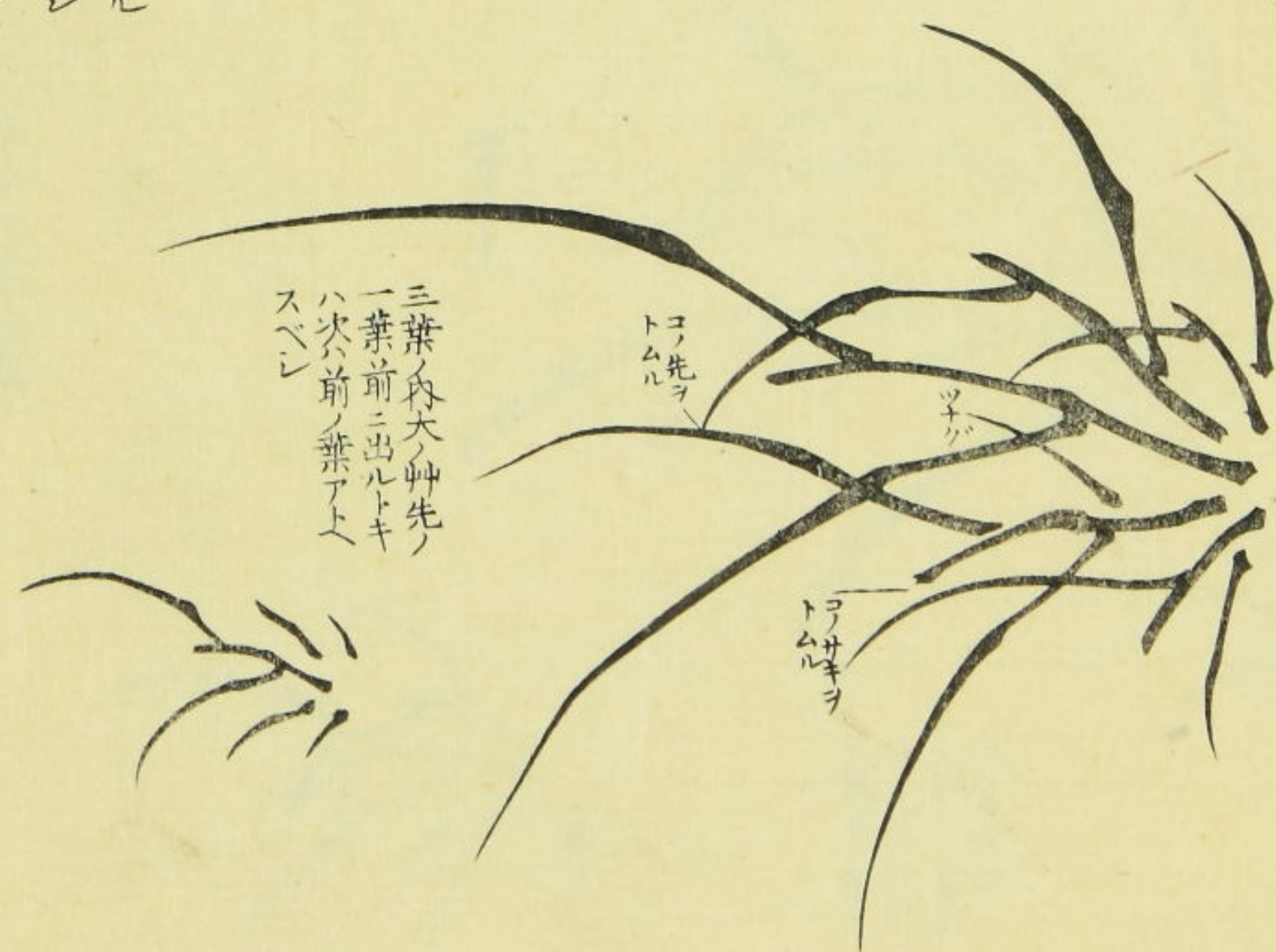
左向

艸根又魚鱗ノ法ナリ  
三根ニテ密ニテサレ  
トキハ小根一葉ヲフミ



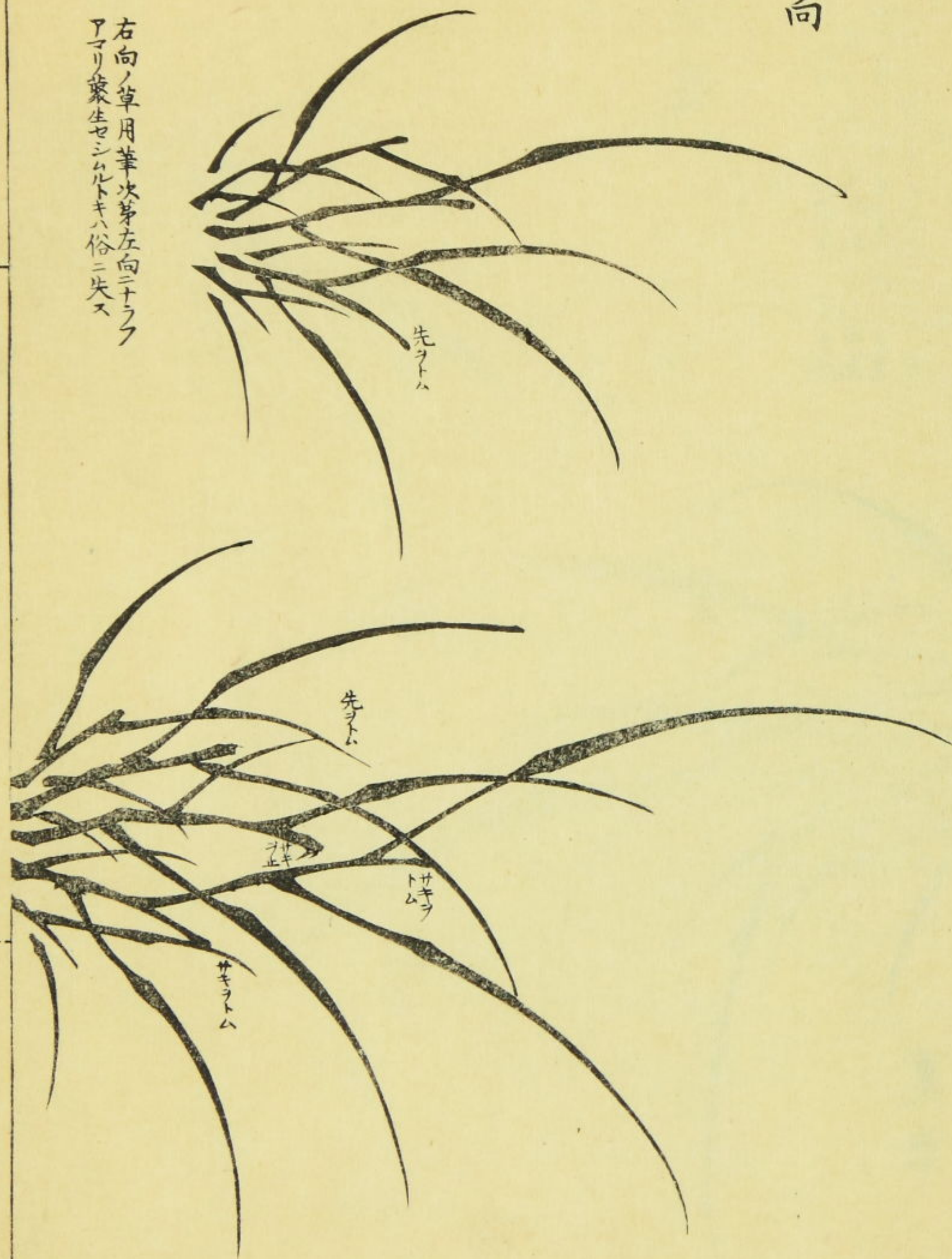
艸ハ都テ一葉連環半環ノ法備ル  
何程繁ク画クモ此意ニ画クヘシ  
クニ魚鱗結法ナリ順筆圖ノ如  
画クヘシ

三葉内大艸先ノ  
一葉前ニ出ルトキ  
ハ次前ノ葉アト  
スヘシ



右向

右向ノ草用筆次第左向ニテラフ  
アリ衆生セシムトキハ俗ニ失ス



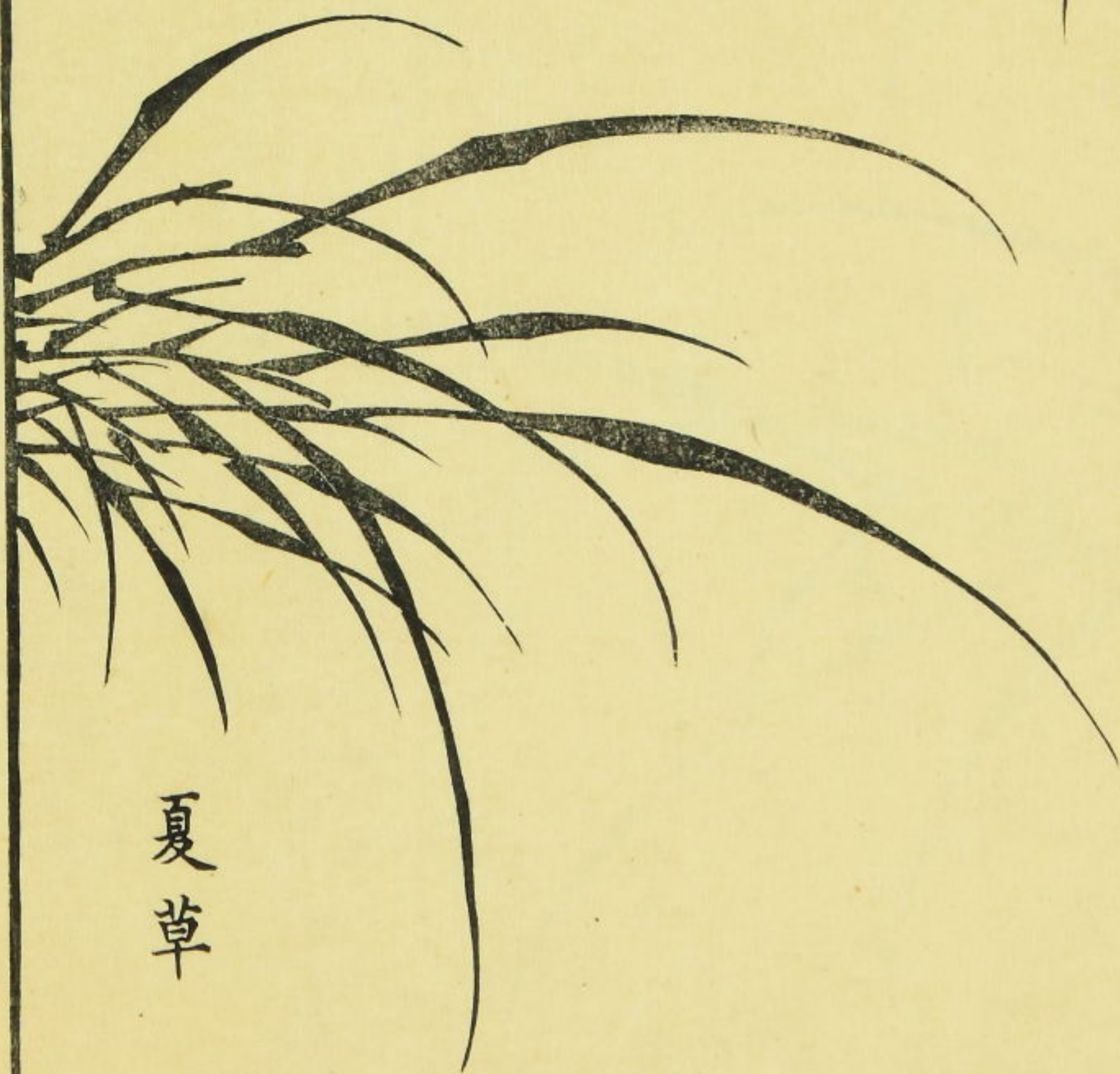
春草



四時變體

凡艸ヲ描クニ四時ノ法アリ此圖ヨリテヨク其法ヲサトルベシタイハ牡丹ヲ画テ秋ノ艸ヲノミ菊ヲ画イテ春ノ艸ヲ加ルコトモ其法度ニ違ヒテ是モ天地自然ノ理ニムク画ヲ学ブ人必解セラルベケンヤ

夏草



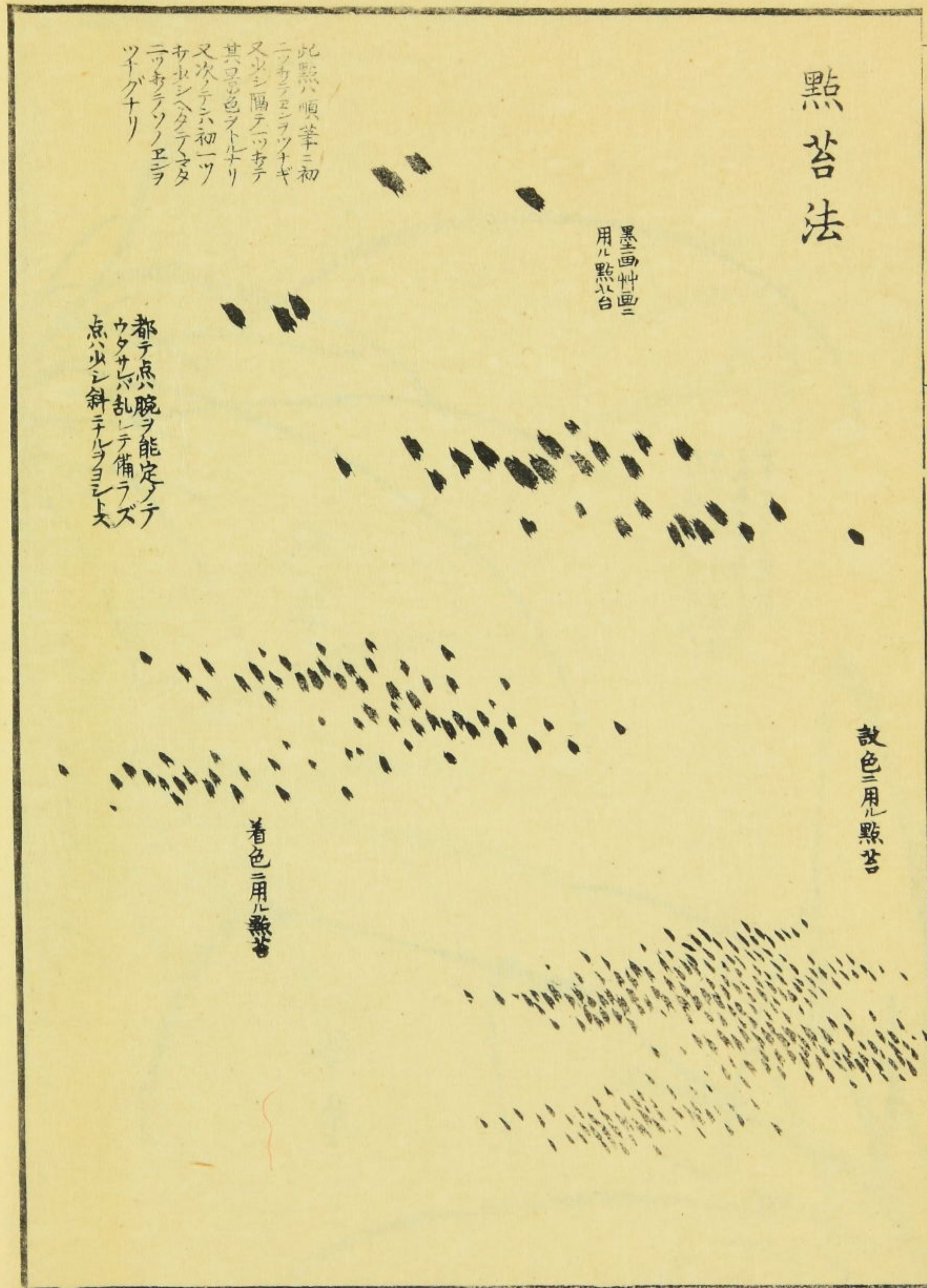
秋草

艸ヲ画クニ深ク法ニ泥ルヤワラカキラズベシ板刻結ノ三病ヲ生ス艸ハスヘテソノテイサシクト画クベシ

冬草



點苔法

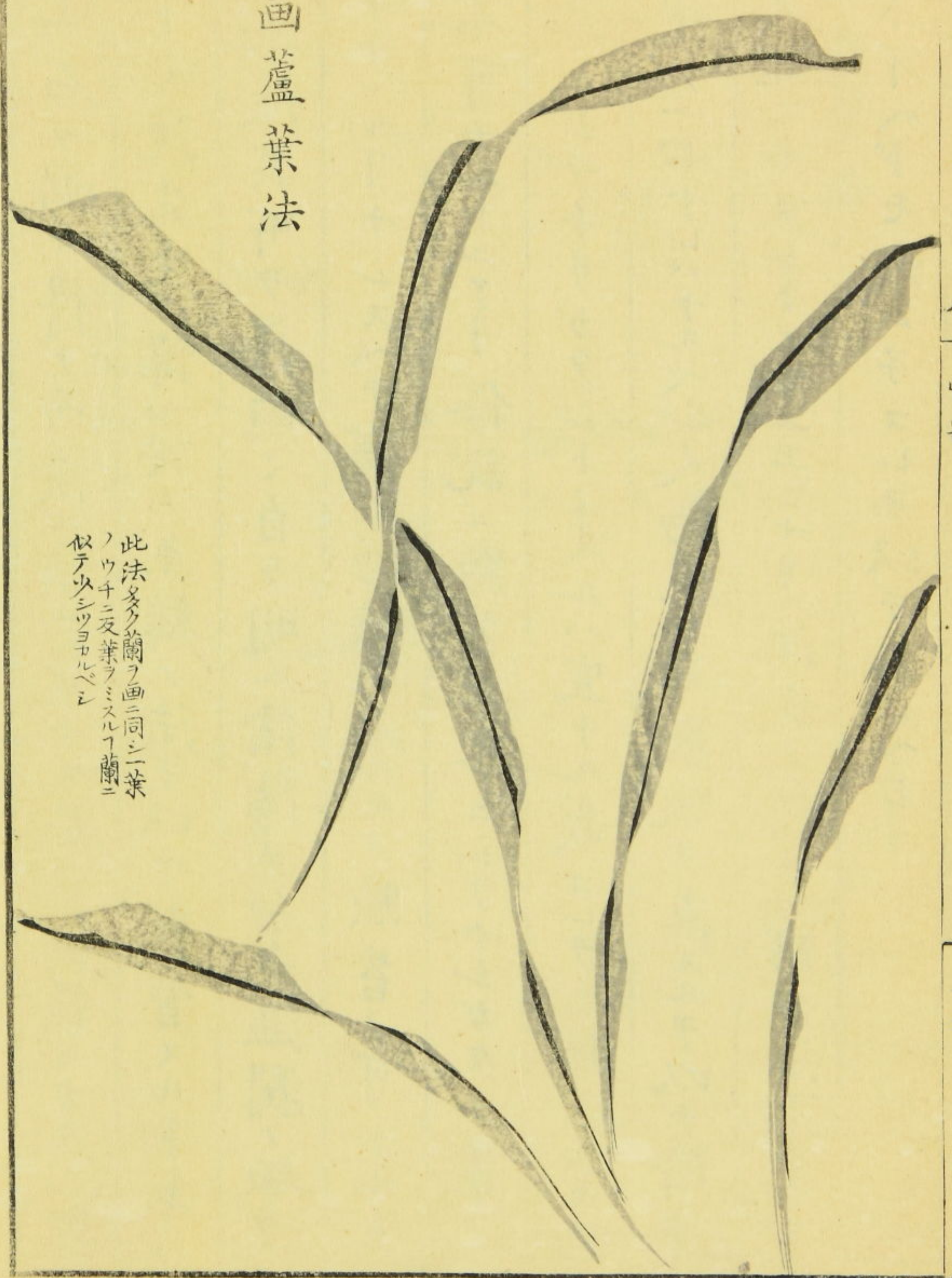


此點ハ順筆ニ初  
ニツケテ墨ヲツキ  
又少シ隔テツキ  
其ツキ色ヲトナリ  
又次ニハ初一ツ  
チ少シハタテタ  
ニツケテツキ  
ツキナリ

都て点腕ヲ能定テ  
ウタサハ乱レテ備ラズ  
点ハ少シ斜ニルヲヨシトス

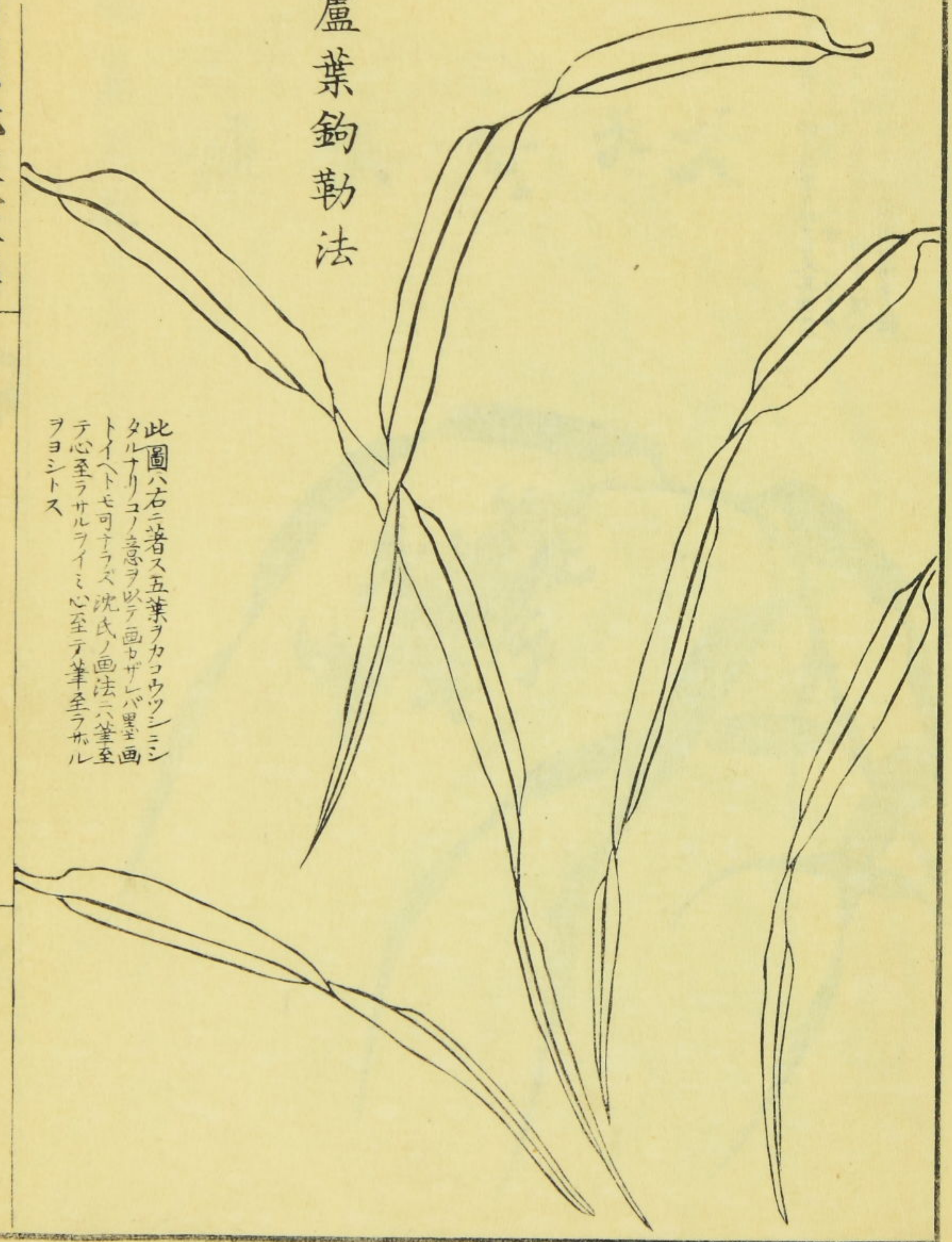
山石ヲ画キ得テ而後ニ點苔ヲナス點苔又最モカタシ然  
トモ沈先生ノ傳ル所ノ魚鱗ノ法ヲ以テ熟習スルトキハ  
濃淡其所ヲ得點々自ラ明ニ陰陽ヲ分チ温潤ノ趣ヲ  
ナサルヲナシスベテ画ノ巧拙ヲミルモノ點苔ノ可ナルト  
不可ナルトニアリ俗説ニ點苔三年ニシテナシガタク暈ハ  
年ニシテナリガタシトイヘルハ宜ナル哉コレヲ心點ト云モ画  
中ノ一心ナレバナルベシ人物及ヒ鳥獸眼ヲ点スルヲ以テ精神  
ヲ見スカタシトスルユエナリ沈氏ノ傳フル所コニツクサズ  
トイヘドモ大ム子コレヲ以テシルベシ

画蘆葉法



此法多々蘭ヲ画ニ同シ一葉  
ノウチニ反葉ヲミスルヲ蘭ニ  
似テムシツヨカルベシ

蘆葉鉤勒法



此圖ハ右ニ著ス五葉ヲカコウツニシ  
タルナリコノ意ヲ以テ画ガサレバ墨至画  
トイヘトモ可ナラズ沈氏ノ画法ハ筆至  
テ心至ラサルライミ心至テ筆至ラハル  
ヲヨシトス

画蘆花法

葉

花

五  
始二  
始一

五  
始二  
始一

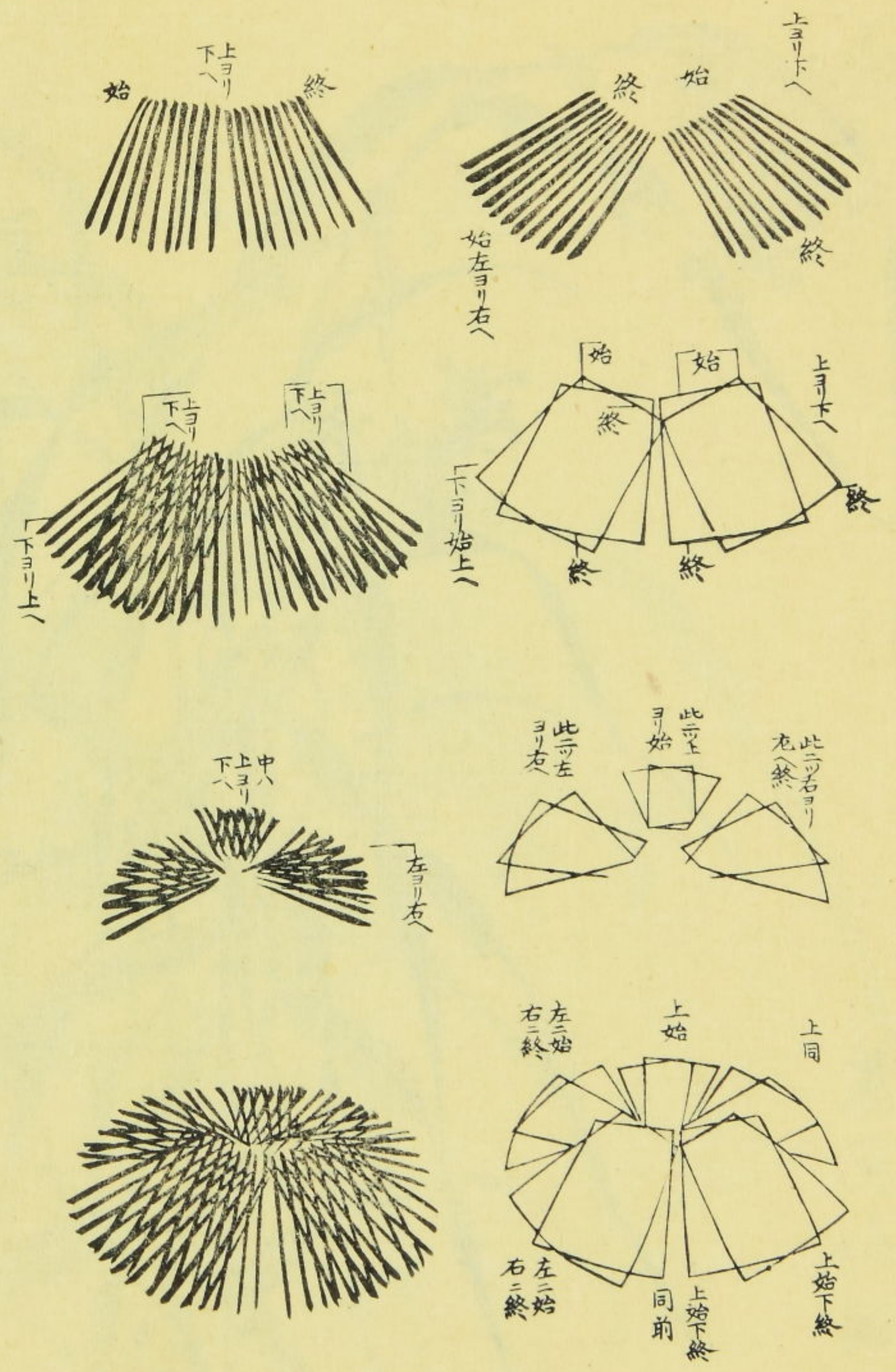
蘆花ヲ画タハ始ニ五筆ヲ以テ又其次ハ  
初ニ二描重ナリ何レモ五筆ニシテイク  
エモ描重ナリ初濃墨ニテ描タス後ハ  
淡墨初淡墨ニテカハ後濃墨ニテ描  
クベシ



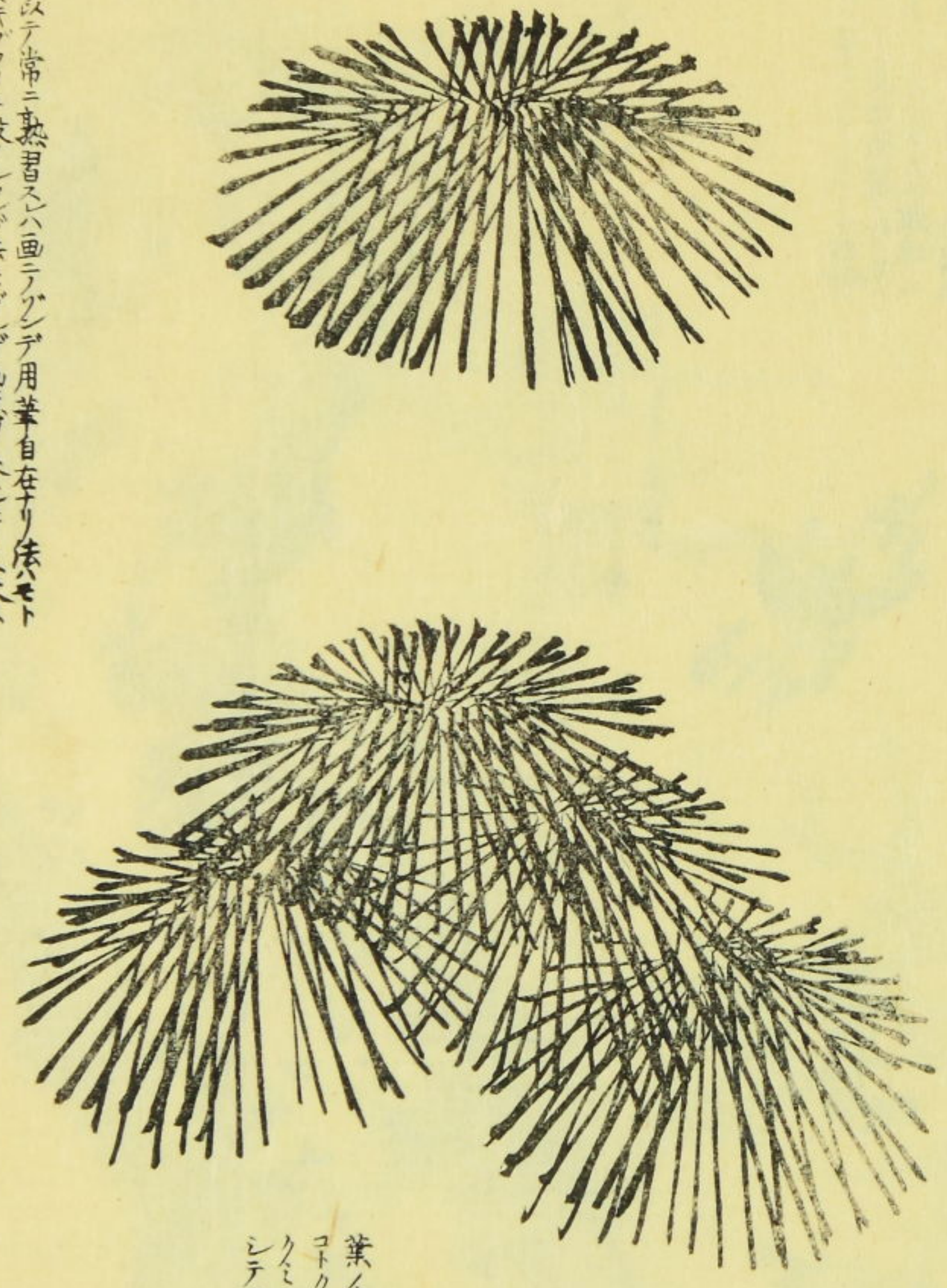
蘆花全圖

画松葉法

松樹千年ニシテ枝ヲタルモナレハ老松ヲ画クトキハ葉モ下ニタルヘシ  
双筆ヲ用ユ筆ノ次第コノ圖ニヨリテミルヘシ



此法ヲ以テ常ニ熟習スルハ画ニテ用筆自在ナリ法ハモト  
ナシヤスギガタニ設クシテハ法ニテ画筆ヲ失スモノ又失ス  
法ヲシラズシテタリニ筆ヲ下スモノ俗病甚シトス

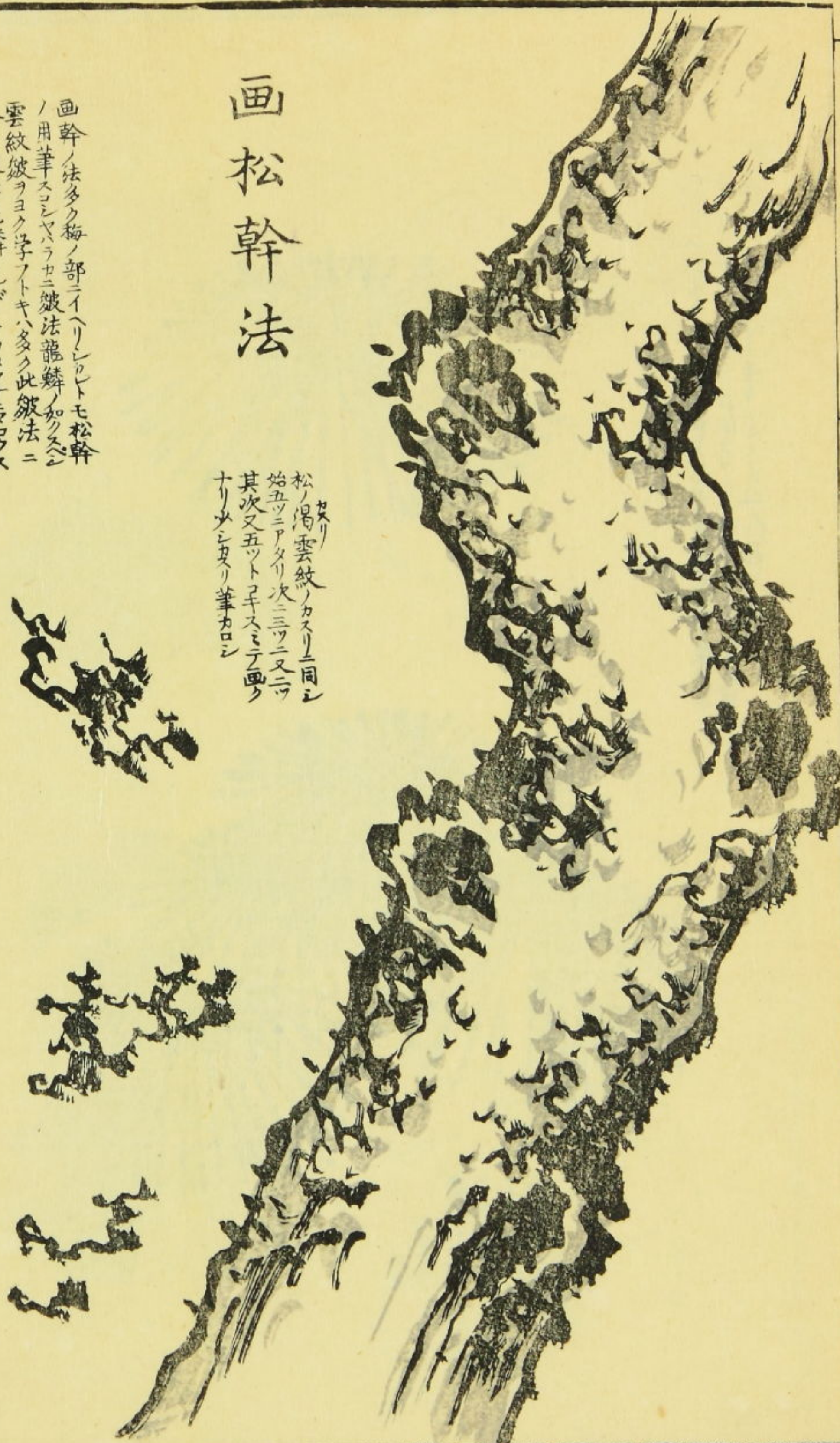


葉々々合セノ法圖ノ  
ゴトク正面ハタビシク次ニ  
クミカタル葉ハ枝ニ應  
ジテカタクヘシ

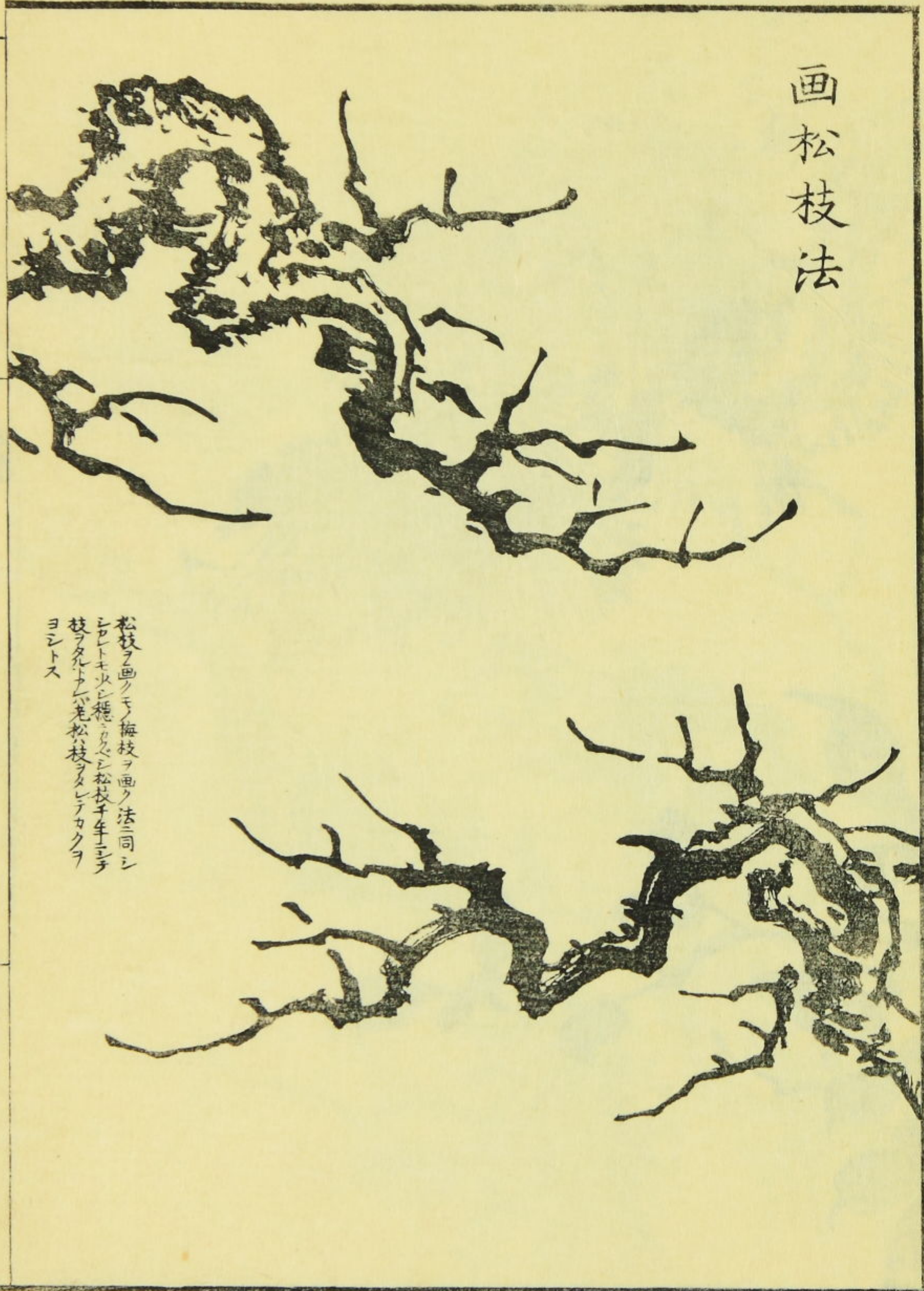
画松幹法

画幹ノ法多ク梅ノ部ニイヘリシトモ松幹ノ用筆多シヤラカニ皴法龍鱗ノ如クニ雲紋皴ヲヨク用フトキハ多ク此皴法ニ合ス皴法龍鱗ナレバトナカクナラバロスルトキハ板ニ失ス

松ノ渴雲紋ノカスリニ同シ始カニアタリ次ニツニ又ツ其次又五ツト手スミテ風ヲナリメニカシ筆カロシ



画松枝法



松枝ヲ画クニ梅枝ヲ画ク法ニ同シシテトモ少シ穩ニ松枝ヲ年ニテ枝ヲタカトハ老松枝ヲタカクヲヨシトス

松全圖

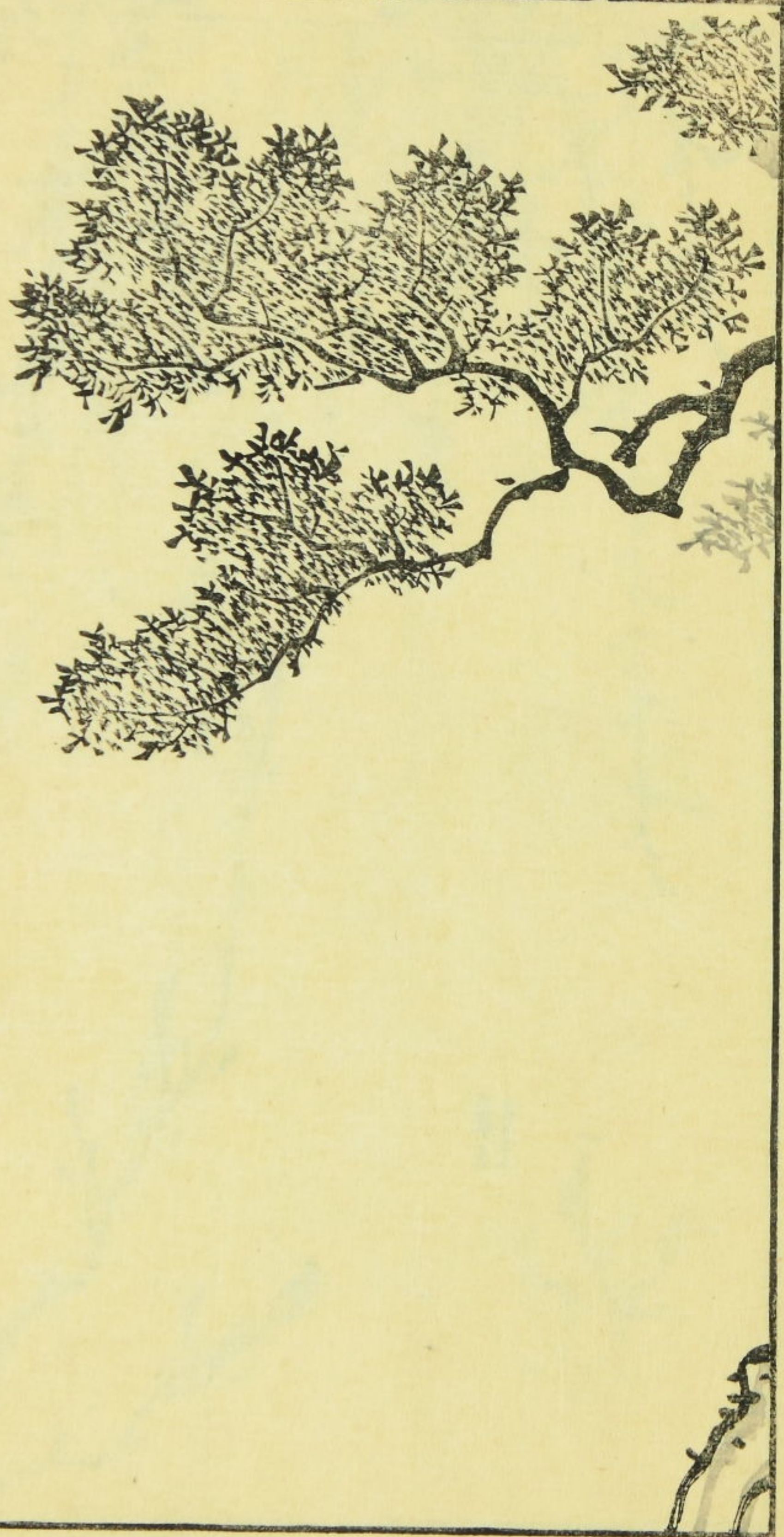


画柏法

幹ノ皴法松ト通リ



柏葉點ハ胡椒點ヨリモ細ニテ先ニ小点ヲナス設色着色ノトキハゴキクサノシルラビデカキハベシ



画柳春秋變體

二月

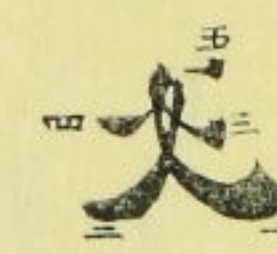
三四月



五葉トモ  
上ヨリトハ



五  
六  
七  
八  
九  
月



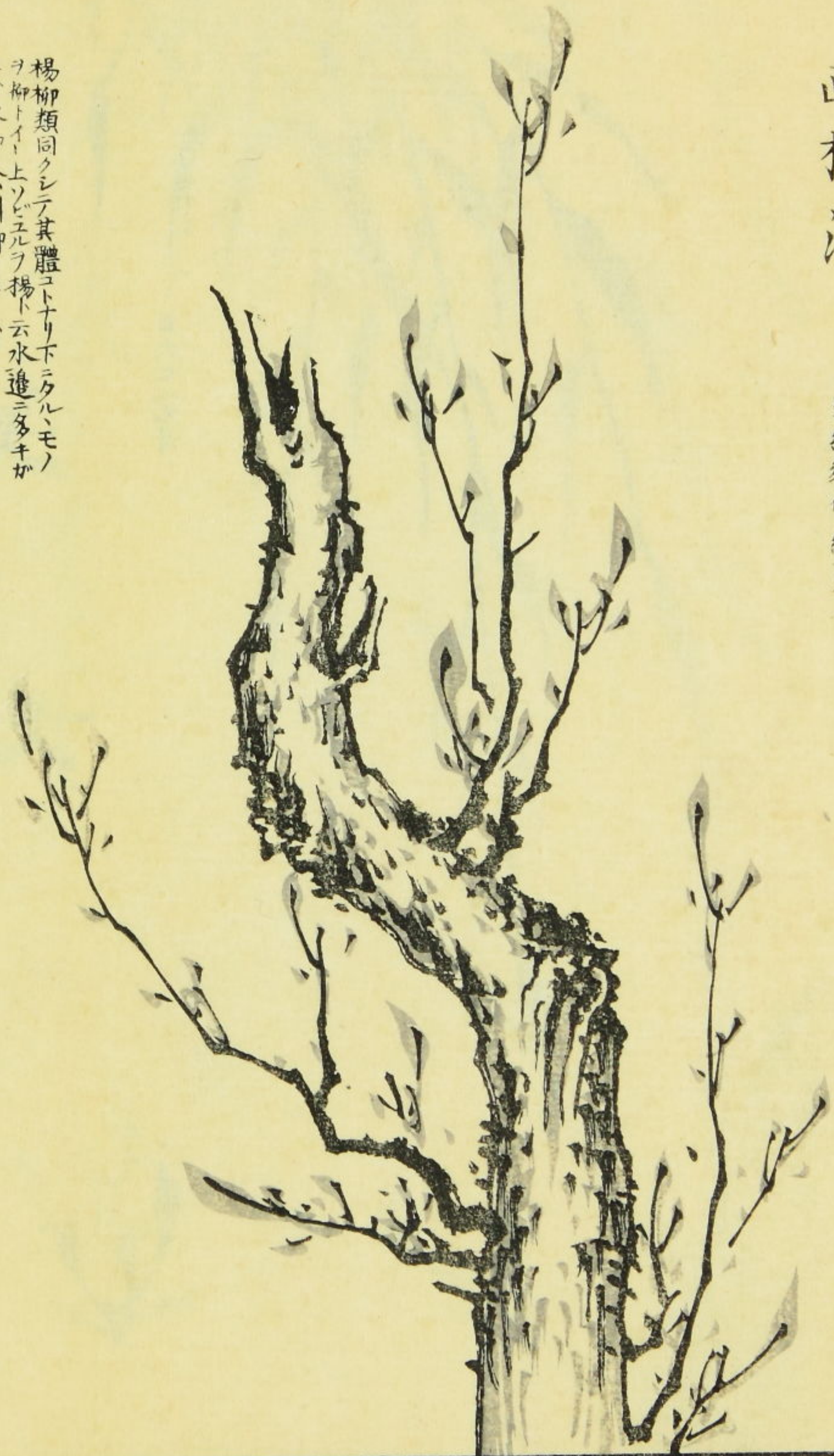
柳葉ヲ画テ竹葉桃葉ニ類スルハ画家ノ  
イハテナリ用筆陸ニテヤニニテアタルベシ



画楊法

柳ノ幹ハ松梅ト火ニ違フ皺マワラカニ  
雲紋皺ニ似テ細ナルベシ

楊柳類同クシテ其體トナリ下ニタルモノ  
ヲ柳トイヘ上ノニユラ揚ト云水邊ニ多キガ  
ユニ水柳メハ川柳トモイヘリ



画柳法



画枝用筆次第法



凡枝ヲ画クモ此法ヲ以テシ此用筆次第ヲ以テ  
熟習スルヤ腕力カカルナク墨色のタラズ自然  
ニ妙ニ至ル是古名家ノ法ニシテ沈氏ノ親傳ナリ



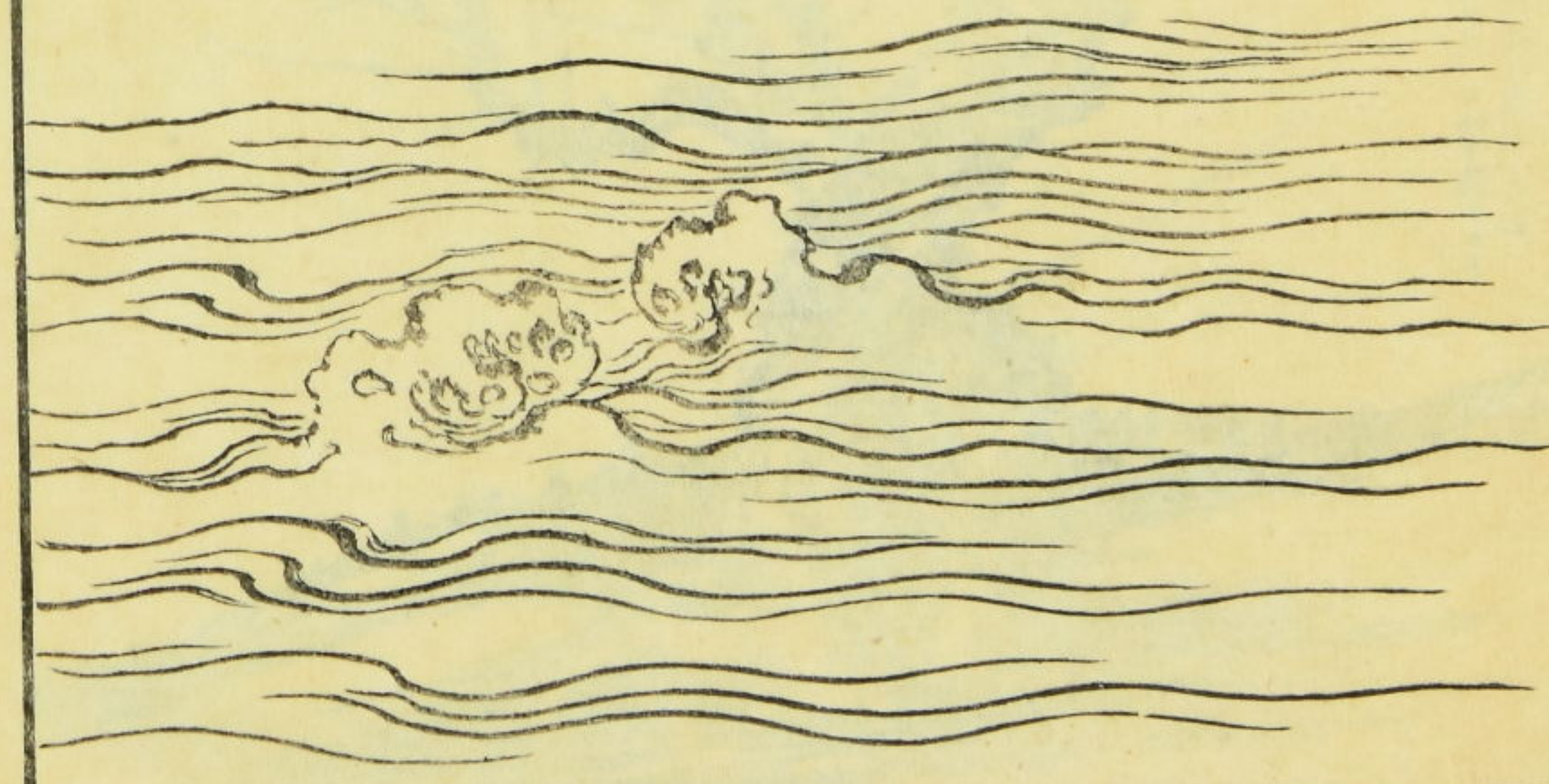
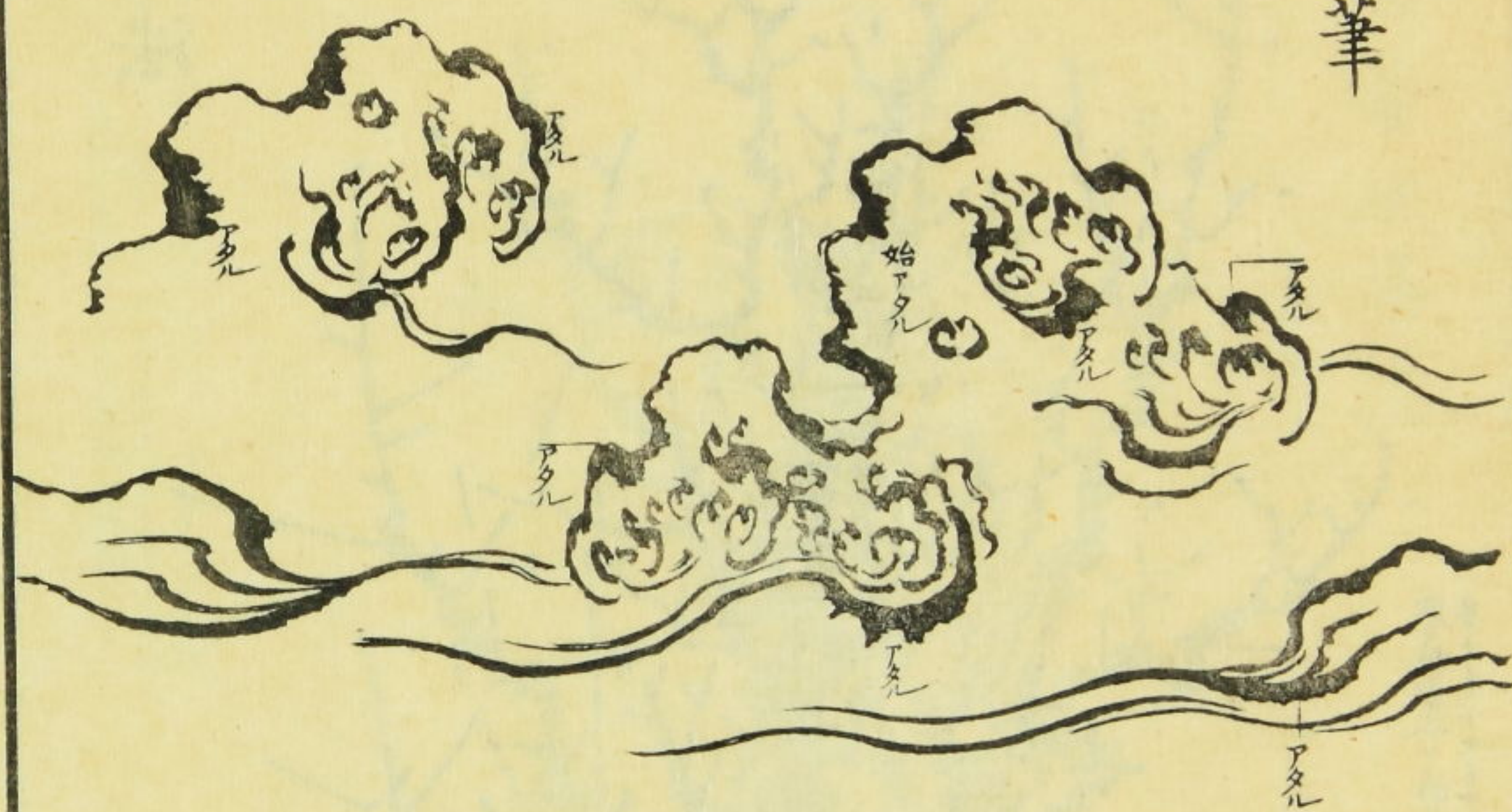
画樹法



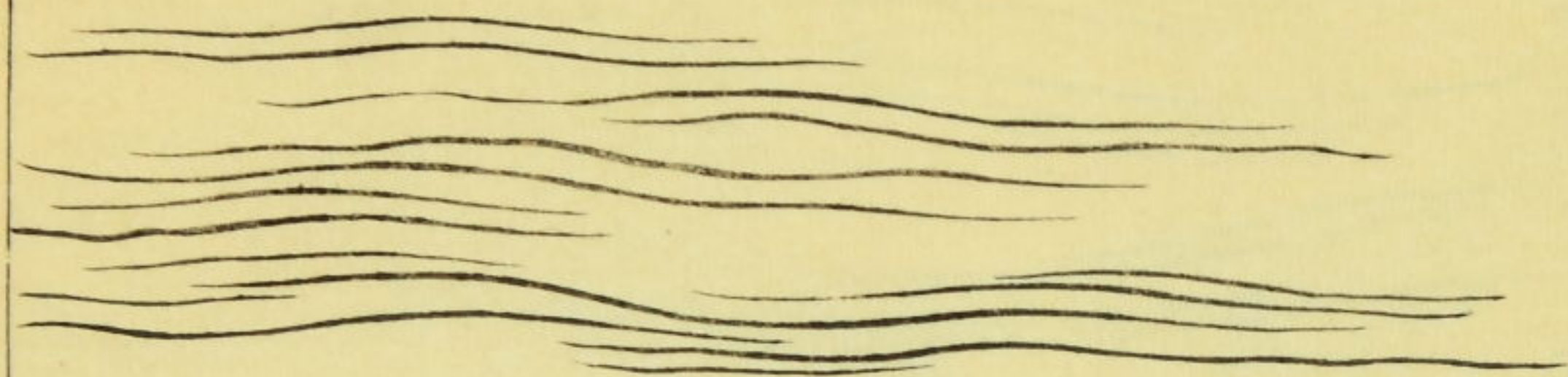
寒林古木ヲ画クモ此法ニ用ルナシ  
多トイヘトモ順筆ニシテ逆筆ニ用ルナシ

画波用筆  
次第法

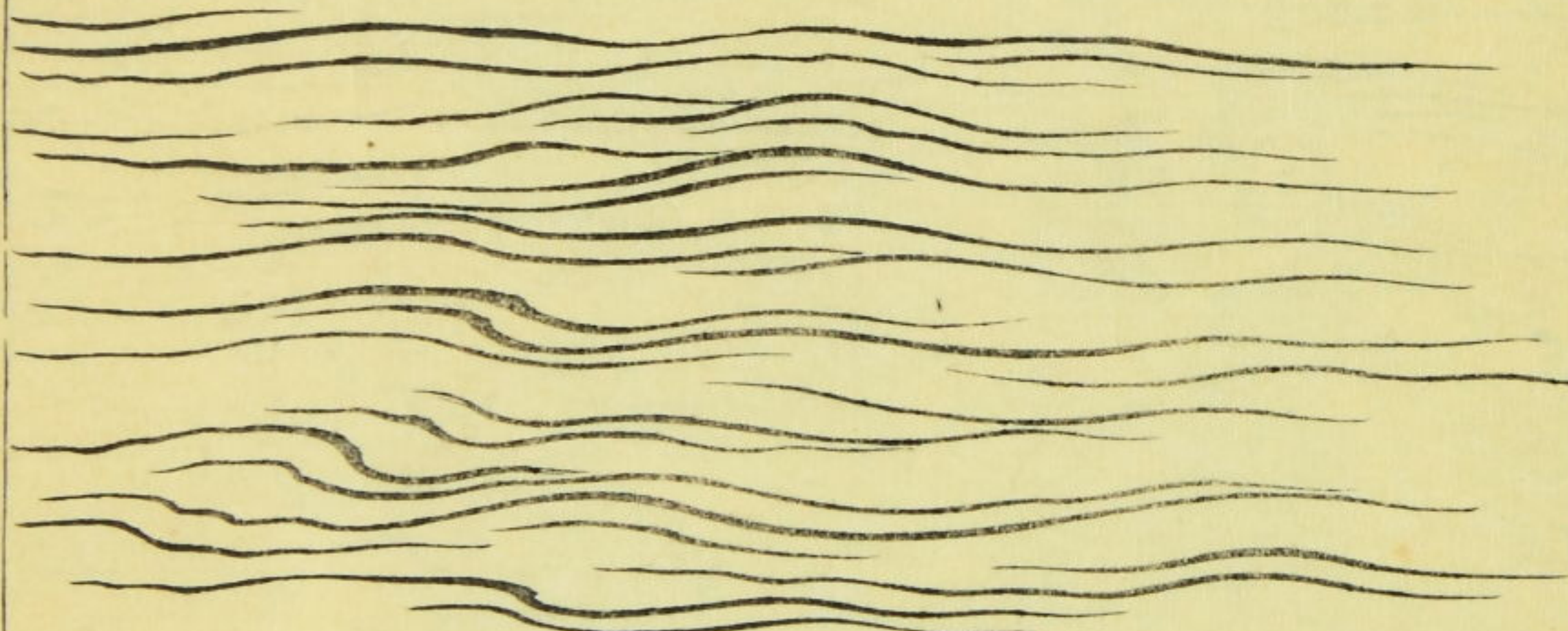
其浪ノ高カレキ  
野ハ陽ニテカク  
卑カレキ所ハ陰ニ  
シテフモカレベシ



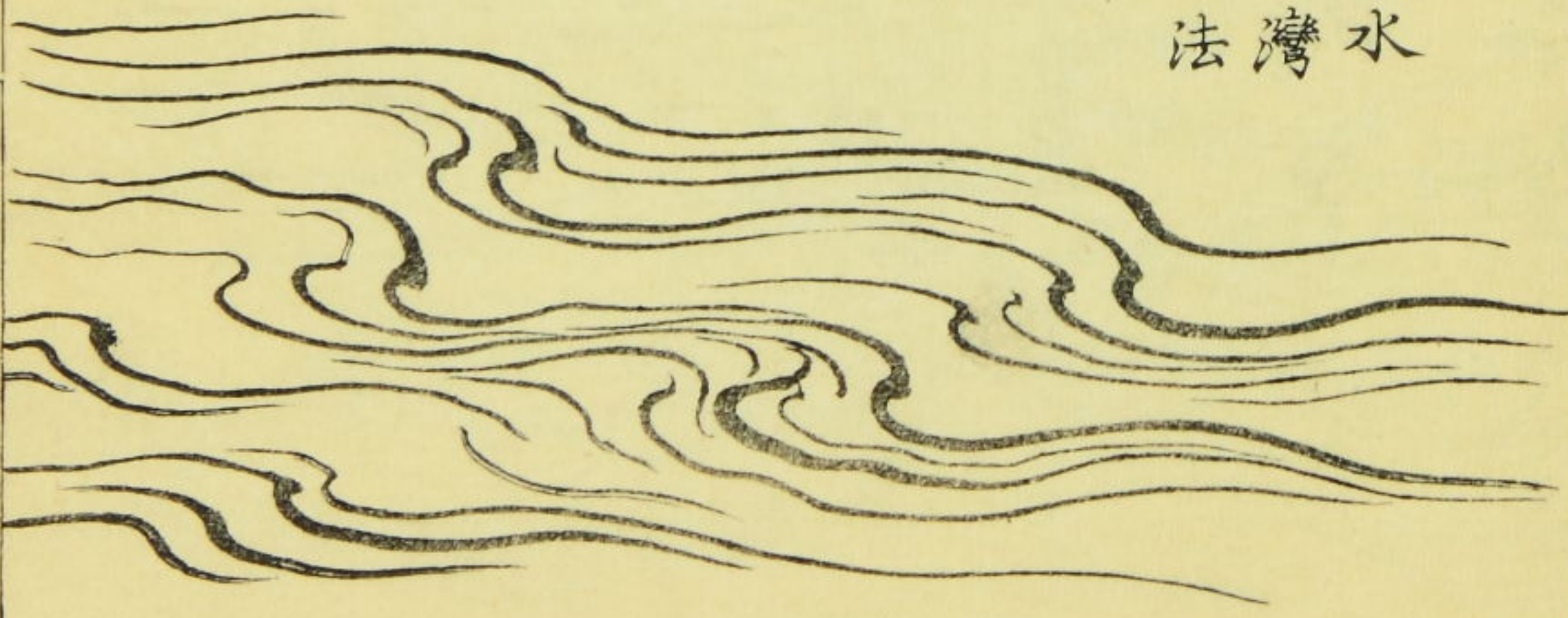
平遠水法



溪沼連漪法



水灣法



江海波濤法

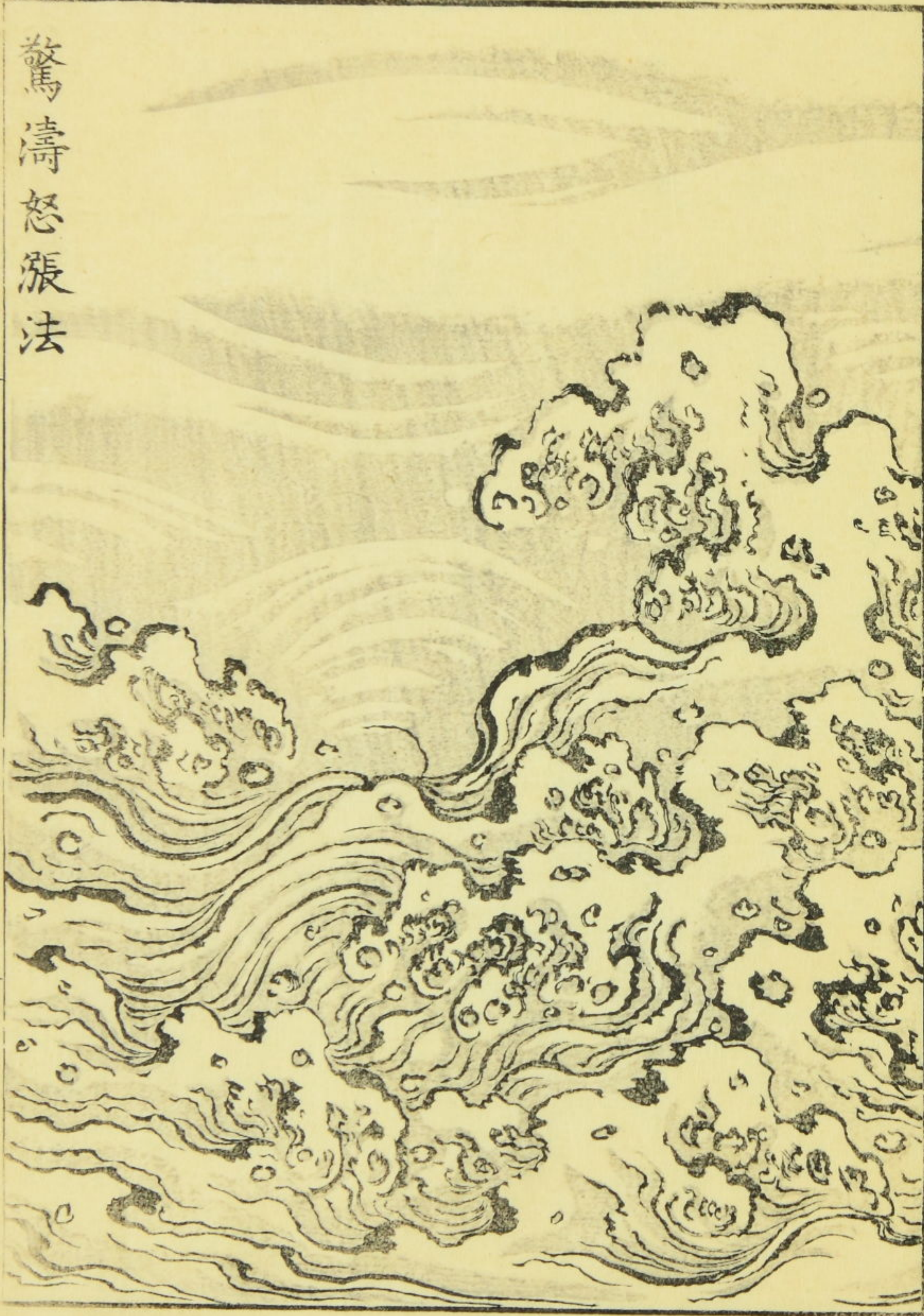


亂石疊泉法





驚濤怒漲法



山ニ奇峯アリ水又奇峯アリ蓋其形勢ニトレリ水モ  
ト活物ニシテ其定體ナク晝夜混々トシテ流テヤムトキナ  
シ烈風ノ潮水ヲ激スル崇岡峻嶒俄然トシテ水上ニ起  
ルコレヲミレバ前ニアリ忽然トシテ後ニアリ豈奇峯トイ  
ハハランヤ斷岸ノ廻流懸崖ノ挂泉響音キ奔雷ヲナシ  
勢ヒ飛龍ノ如ク石ヲ轉シ玉ヲ鳴ス其形子目ニアツテ其  
様寫スヘカラガルニ似タリコレヲ寫得スルハ惟画法ニ熟  
スルニアリシカレドモ法ニナヅムトキハ又眞景ニワムクツ子ニ  
眞景ヲ熟察スルモ画ノ法則ヲシラザレバ一筆モ寫スル

コトアタハズヨク画法ニ熟シヨク眞景ヲ察スルニアラズンハ  
其妙ニ至ルヲカタシ先師云今世画ヲ学フ人各門戸  
ヲタテ、其タクミニホコルトイヘドモ草木岩石水ヲ画クニツ  
タナキモノハミルニタラズト予ヤ此言ヲ聞テヨリ今ニ至  
ルマデ居<sup>ツ</sup>恒コレヲツトメテイマダタレリトセズ生涯ノ勞殆  
ヤムベカラサランカ後学ノ人先圖ニヨツテ此法ヲ熟得セ  
バ藍青ノ譽余ガ子カフ所ナリ

